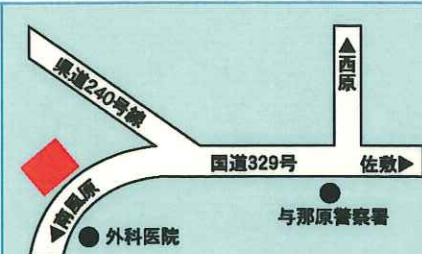




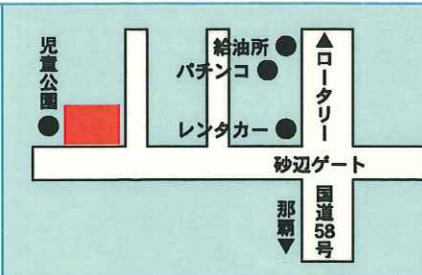
■与那原維持出張所

〒901-1302
沖縄県島尻郡与那原町字上与那原346-1
☎098-945-3011



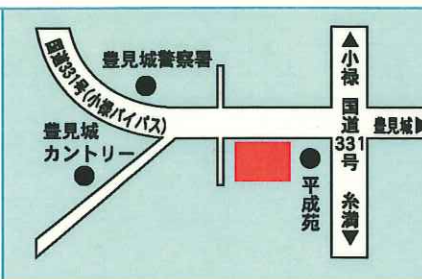
■嘉手納国道出張所

〒904-0111
沖縄県中頭郡北谷町字砂辺282-1
☎098-936-7033



■那覇空港自動車道出張所

〒901-0234
沖縄県豊見城市字田頭165番地
☎098-852-2087



施設利用案内

施設のご利用については、小中学校から、各種団体、会社の研修、個人でも受付します。

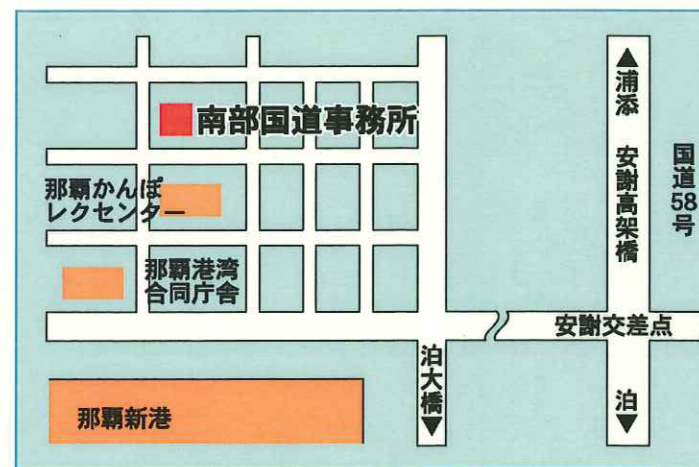
開館時間 午前9時30分～午後4時30分
休館日 土・日・祝祭日 12月29日～1月3日

◆問い合わせ 南部国道事務所 **入場無料**



所在地：〒901-0201 豊見城市字真玉橋128-1

ご利用人数等制限がありますので、ご利用を希望される方は下記まで問い合わせして下さい。



内閣府 沖縄総合事務局

南部国道事務所

〒900-0001 沖縄県那覇市港町2-8-14
TEL 098-861-2336

<http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/>

道路は、ガソリン税・自動車重量税など道路利用者の負担で建設されています。



内閣府沖縄総合事務局
南部国道事務所

沖縄を支える道づくり

平成19年度は、社会資本整備重点計画に即して道路整備を推進します。

「活力 ～自立型経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり～」、「安全 ～安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり～」、「環境 ～沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出～」、「暮らし ～特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり～」のテーマを実現するため、他の行政分野と連携を図りつつ、重点的かつ計画的に道路整備を進めます。



那覇まつり（那覇大綱挽）

海洋博関連事業の着手（S47）

若夏国体（S48. 5）

58号 拡幅整備着手（S48. 9）

331号 垣花～通堂拡幅整備着手（S49）

沖縄国際海洋博覧会（S50. 7）

329号 拡幅整備着手（S51）

730交通方法変更（S53）

331号 港川局改工事着手（S54）

330号 石平橋工事着手（S55）

331号 垣花立体工事着手（S56）

58号 明治橋架替工事着手（S59. 2）

329号 漫湖改良工事着手（S59. 9）

330号 西原局改工事着手（S60. 2）

58号 安謝立体工事着手（S60. 5）

331号 小禄バイパス工事着手（S61. 5）

58号 宜野湾バイパス工事着手（S61. 9）

海邦国体（S62. 10）

58号 牧港立体工事着手（H3. 8）

首里城復元（H4. 5）

506号 那覇空港自動車道

南風原道路工事着手（H4. 11）

全国植樹祭（H5. 4）

506号 那覇空港自動車道

豊見城東道路工事着手（H9. 3）

沖縄サミット開催（H12. 7）

S47

S47. 5. 15
本土復帰

第7次道路整備
五箇年計画
S48～S52

第8次道路整備
五箇年計画
S53～S57

第9次道路整備
五箇年計画
S58～S62

第10次道路整備
五箇年計画
S63～H4

第11次道路整備
五箇年計画
H5～H9

新道路
五箇年計画
H10～H14

社会資本整備
重点計画

第一次沖縄振興開発計画
S47～S56

第二次沖縄振興開発計画
S57～H3

第三次沖縄振興開発計画
H4～H13

沖縄振興計画
H14～H23

58号仲泊～那覇拡幅整備（S50. 6）

331号 垣花～通堂拡幅整備（S50. 6）

329号 旭橋完成（S55）

330号 石平橋架替完成（S55）



那覇ハーリー

331号 垣花立体完成（S59. 3）

331号 港川局改完成（S62. 2）

331号 川尻橋架替完成（S62. 3）

58号 明治橋架替完成（S62. 3）

331号 小禄拡幅完成（S62. 3）

58号 宜野湾バイパス 暫定2車部分完成（S62. 9）

330号 西原局改暫定2車完成（S62. 10）

331号 小禄バイパス完成（H1. 12）

330号 西原局改完成（H2. 3）

58号 安謝立体暫定一部供用（H3. 4）

329号 漫湖改良・那覇東

バイパス 部分供用（H4. 4）

329号 とよみ

331号 名城バ

329号 那覇東

331号 百名改

329号 那覇東バ

大橋完成（H5. 11）

イパス完成（H6. 12）

バイパス部分供用（H7. 3）

良完成（H8. 3）

イパス 全線暫定供用（H8. 3）

58号 牧港立体完成（H10. 3）

329号 那覇東バイパス

暫定4車供用（H11. 8）

58号 宜野湾バイパス全線供用

〔牧港地区暫定形〕（H12. 3）

506号 那覇空港自動車道

南風原道路供用（H12. 6）

糸満道路部分暫定供用（H14. 4）

豊見城東道路部分暫定供用（H15. 4）

読谷道路部分暫定供用（H15. 4）

豊見城道路部分暫定供用（H16. 3）

南風原バイパス部分暫定供用（H16. 5）

豊見城道路部分暫定供用（H18. 2）

与那原バイパス部分暫定供用（H18. 3）

南風原バイパス部分暫定供用（H18. 3）

豊見城道路全線暫定供用（H19. 3）

道は社会の発展とともに
新しい表情を造り出します

国道の移り変わり

昔



国道58号那覇市安謝付近（昭和47年）

今



昔



国道329号南風原町兼城付近（昭和51年4月）

今



昔



国道330号沖縄市胡屋付近（昭和57年9月）

今



南部国道事務所 2007事業概要 Contents

2……………管内の状況～社会経済指標～

4……………南部国道事務所事務所の基本方針

道路行政の進め方

5……………管内住民のニーズ

アウトカム指標による目標設定

6……………管内の状況～道路を取り巻く現況～

8……………事務所の概要

9……………管内主要事業箇所

10……………調査

■都市交通の円滑化

■ハシゴ道路の構築

■那覇空港自動車道（高規格幹線道路）

豊見城東道路

■沖縄西海岸道路（地域高規格道路）

読谷道路・嘉手納バイパス

浦添北道路

那覇西道路

豊見城道路

糸満道路

■一般2次改築

与那原バイパス・南風原バイパス

摩文仁改良

中山改良

26……………用地

27……………管理

29……………交通安全

30……………バリアフリーふれあい広場

32……………情報・通信関連事業

34……………国道の植栽

36……………組織図・歴代所長・沿革

37……………沖縄の世界遺産

南部国道事務所ホームページ

<http://www.dc.ogb.go.jp/nankoku/>

管内の状況

社会経済指標

■管内市町村別面積・世帯数・人口

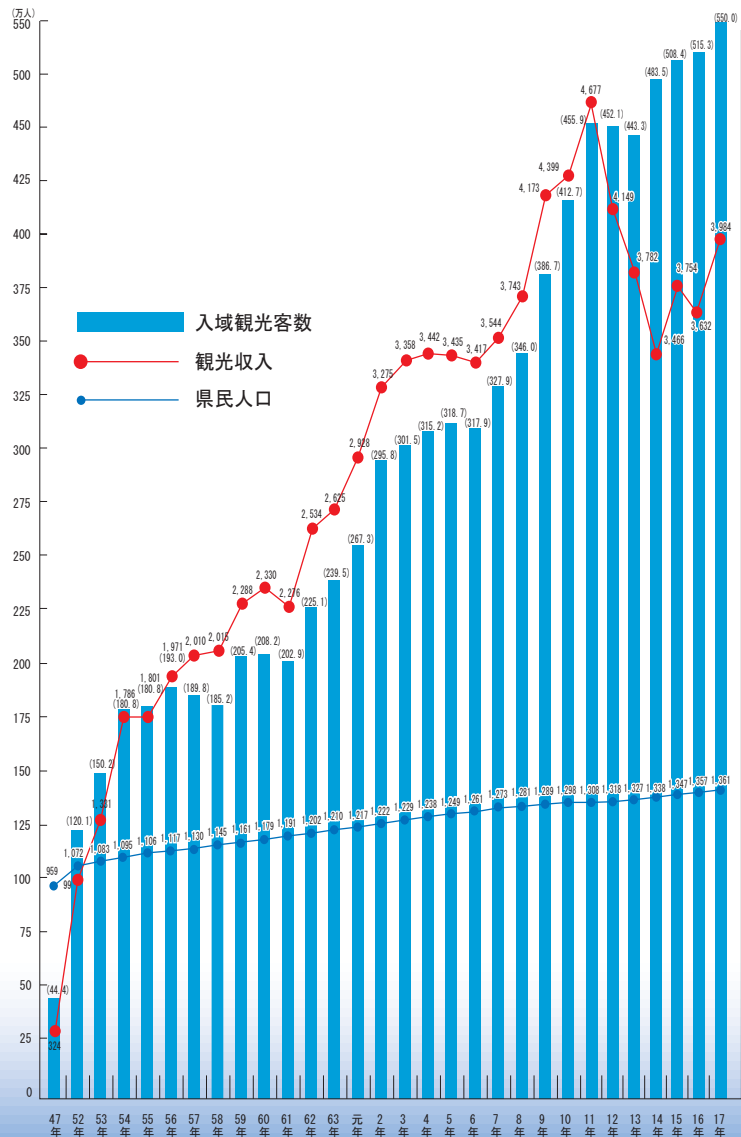
那覇市や周辺市町村に人口が集中

市町村名	面積(km ²)	世帯数	人口(人)
沖縄県計	2,274.32	488,368	1,361,594
管内計	384.01	356,501	999,699
那覇市	38.99	122,613	312,393
宜野湾市	19.59	34,738	89,769
浦添市	19.06	38,314	106,049
糸満市	46.63	17,703	55,816
沖縄市	49.00	44,650	126,400
豊見城市	19.25	16,688	52,516
読谷村	35.17	11,803	37,306
嘉手納町	15.04	4,667	13,629
北谷町	13.63	9,309	26,848
北中城村	11.53	5,096	15,790
中城村	15.46	5,333	15,798
西原町	15.84	11,280	33,733
八重瀬町	29.6	7,424	25,121
南城市	49.69	11,561	39,651
与那原町	4.81	5,138	15,342
南風原町	10.72	10,184	33,537

出典：平成17年国勢調査

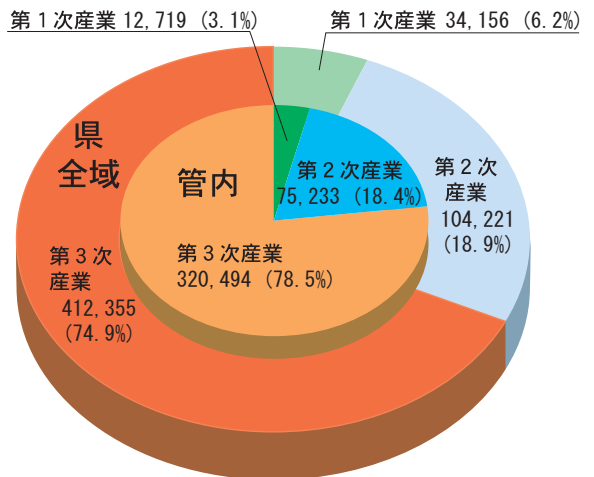
■過去の観光客数、観光収入及び人口の推移

観光入り込み客は右肩上がりの増加



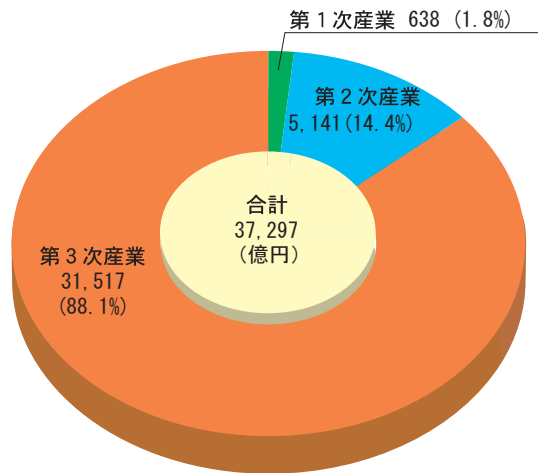
出典：入域観光客数、観光収入／沖縄県観光リソース局（平成18年）
人口／沖縄県統計年鑑平成18年度版

■県内産業別人口比（単位：人）



出典：平成12年度 国勢調査より

■県内産業別GDP



出典：「平成15年度 県民経済計算の概要」沖縄県企画開発部統計課

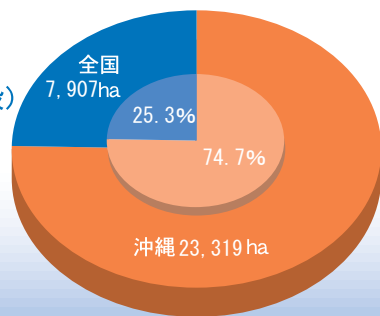
■米軍基地の全国対比

国内米軍基地面積の3/4が沖縄に立地

区分	全国(千m ²)	沖縄(千m ²)	本土(千m ²)
専用施設	312,253	233,186	79,068
一時使用施設※	699,235	3,688	695,547
合計	1,011,489	236,874	774,615

※一時使用施設：米軍の占用使用ではなく、自衛隊との共用使用の意

■面積における全国対比（米軍専用施設）



出典：「沖縄の米軍及び自衛隊基地（統計資料集）」平成16年3月

■沖縄の道路整備状況

道路種別	実延長(km)		整備率(%)			舗装率(%)		
	全国	沖縄	全国	沖縄	格差	全国	沖縄	格差
高速自動車国道	7,382.7	57.3	—	—	—	100.0	100.0	100
一般国道計	54,265.2	473.5	59.8	59.0	99	90.1	97.4	108
指定区間	22,279.4	311.3	53.6	44.0	82	98.4	100.0	102
指定区間外	31,985.8	162.1	64.1	87.9	137	84.3	92.4	110
県道計	129,138.9	1,018.8	54.7	72.0	132	59.8	85.9	144
主要地方道	57,820.6	395.8	58.9	71.4	121	70.3	92.4	132
一般県道	71,318.3	622.9	51.2	72.3	141	51.3	81.7	159
国・県道計	183,404.1	1,492.2	56.2	67.9	121	68.8	89.5	130
市町村道	1,002,185.4	6,282.0	54.6	60.8	112	17.7	37.5	212
一般道路計	1,185,589.6	7,774.3	54.8	62.2	113	25.6	47.5	185
合計	1,192,972.2	7,831.6	—	—	—	26.1	47.9	184

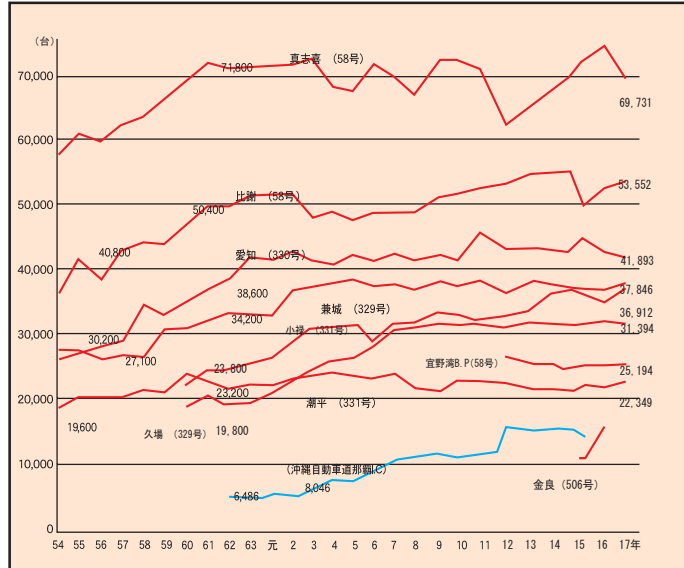
注1 市町村道整備率については、改良済延長で算出したものである。2 舗装率は、簡易舗装を除いた率である。出典：「道路統計年報(2006)」

■交通の状況

南北方向の流動が多く、特に国道58号に交通が集中

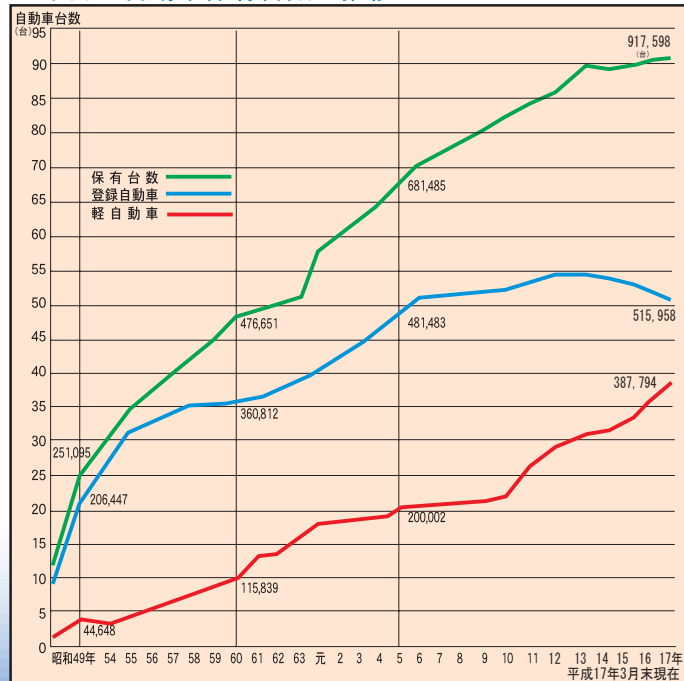
管内の区間交通量は、国道58号の那覇市内～北谷町間、国道330号の那覇市内～浦添市間は70,000～80,000台／日と交通量が多く、中南部地区への集中がうかがえます。

■交通量の推移

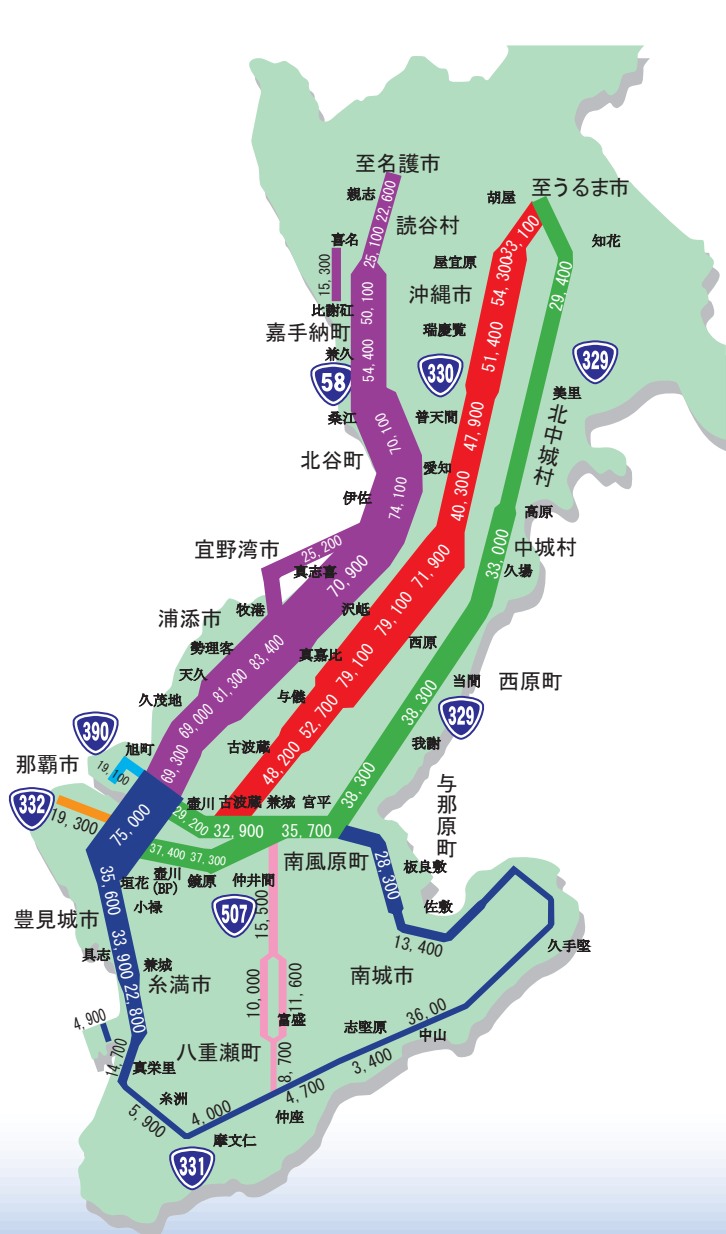


交通量常時観測調査データ（平成16年度）

■県内の自動車保有台数の推移



■交通量図



（平成17年度全国道路交通センサス）台／日（平日）
※台数は百台単位で丸めた値

南部国道事務所の基本方針

「沖縄ブロックの社会整備資本に係わる地域の将来の姿(案)」による目指すべき将来の姿や、道路利用者のニーズ、さらには懇談会の提言を踏まえ、南部国道事務所における道路整備の基本方針について、以下の5項目を設定しています。

「沖縄ブロックの社会整備資本に係わる地域の将来の姿(案)」によるめざすべき将来の姿

活力：自立的経済の構築と持続的発展を支える基盤づくり
安心：安全・安心な生活の確保と災害に強い県土づくり
環境：沖縄特有の豊かな自然環境の保全・創出
暮らし：特性を生かした安らぎと活力ある地域づくり

利用満足度調査による県民のニーズ

- 南部国道管内居住の道路利用者の6割以上が、今後の重点整備事項として「渋滞対策」を指摘しており、交通渋滞の緩和に高い関心
- また、「バリアフリー化」や「歩道整備」、「事故対策」といった安全性に関連した項目にもそれぞれ3割以上の指摘があり、道路環境の安全性に対しても高い関心。

沖縄地方道路懇談会からの提言

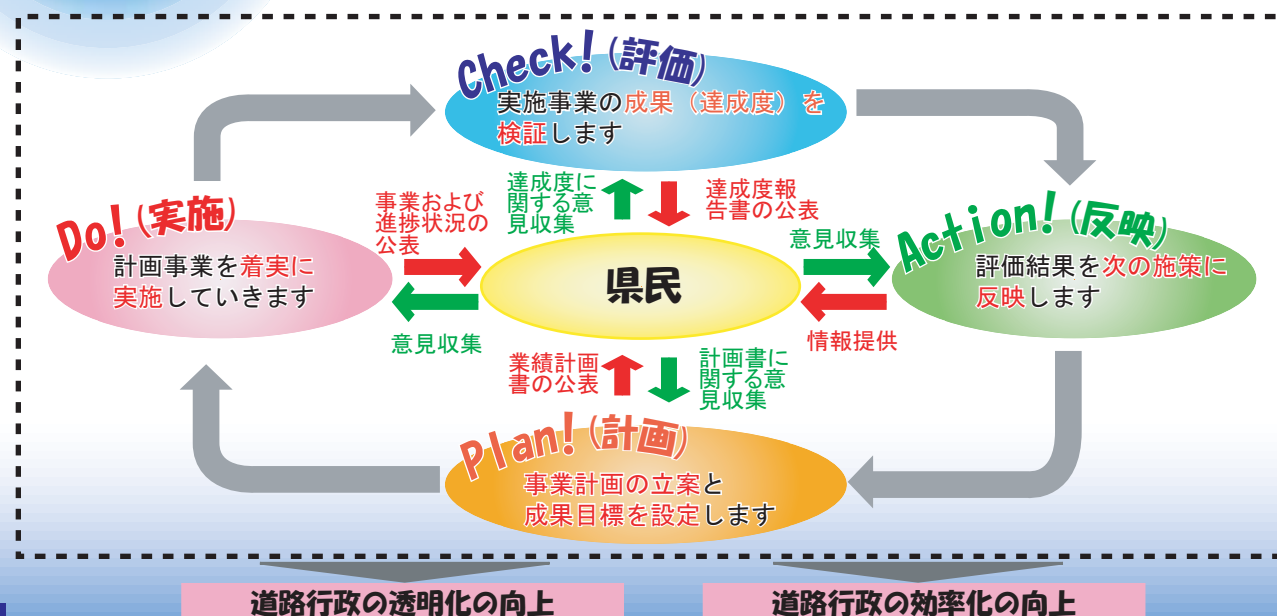
- 提言1: 連携・交流を支える幹線ネットワークの形成
- 提言2: 都市部の交通渋滞の緩和
- 提言3: 貴重な自然環境との調和
- 提言4: 人に優しい安全で安心な暮らしの創出
- 提言5: 個性豊かな地域づくりとの連携
- 提言6: 観光への支援と沖縄らしい景観の保全・創出
- 提言7: 県民参加と道路行政の転換

南部管内における道路整備の基本方針

- 方針1: 交通渋滞を緩和し、地域間交流を促進する道づくり
- 方針2: 安全で安心な道づくり
- 方針3: 沖縄の観光を支援する道づくり
- 方針4: 環境に配慮した道づくり
- 方針5: 開かれた道路行政

道路行政の進め方

南部国道事務所では、「成果主義」と「県民とのコミュニケーション」に基づいた“PDCAサイクルによる道路行政マネジメント(実施事業の評価・反省を以降の施策・事業に反映させる仕組み)”による行政運営を進めていきます。



管内住民のニーズ

南部国道管内住民が評価する道路の満足度は、5段階評価で“2.8”と満足度が低く、その理由として、「車の流れ・交通渋滞」を挙げる人が7割近くを占めるなど、交通渋滞に対する不満により、道路の評価が低い状況となっています。

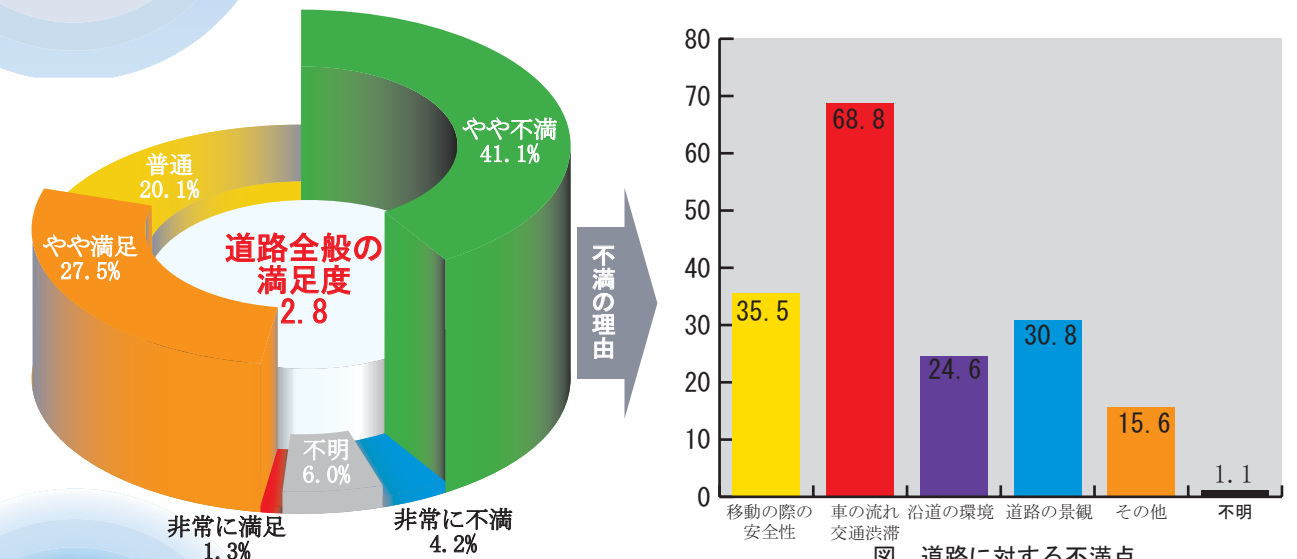


図 道路全般の評価(5段階評価)

資料：南部国道管内住民道路満足度調査(H18年度)

アウトカム指標による目標設定

南部国道事務所では、5つの基本方針の達成に向け、アウトカム指標を用いた目標値を毎年設定した上で、道路事業を実施しています。

表 南部国道事務所にて設定している主なアウトカム指標

道路整備の基本方針	アウトカム指標	単位	指標の内容
交通渋滞を緩和し、地域間交流を促進する道づくり	渋滞損失時間	万人時間/年	渋滞がない場合の所要時間と実際の所要時間の差の年間合計
	高速道路等を使う割合	%	自動車専用道路を利用する交通の割合
安全で安心な道づくり	道路交通における死傷事故件数	件/億台km	自動車の道路交通量(区間毎の交通量と道路延長を掛け合わせた値)あたりの死傷事故件数
	緊急医療施設30分カバー率	%	各市町村役場から琉大付属病院または県立南部医療センターまでの所要時間が、30分以内の市町村数の割合
沖縄の観光を支援する道づくり	空港から主要観光地までの1時間で到達できる割合	%	各観光施設を1時間以内で移動できる組み合わせの割合
環境に配慮した道づくり	夜間騒音環境基準達成率	%	居住地を通過する幹線道路の延長に対し、環境基準(生活環境の保全上望ましい基準)を達成している道路延長
	CO2排出量	t	渋滞時の旅行速度を基にした、自動車から排出される二酸化炭素量
開かれた道路行政	ホームページアクセス数	万件/年	南部国道事務所のホームページ(PC及び携帯電話サイト)への年間の合計アクセス数
	道路利用者満足度	—	道路利用者に対する満足度調査(5段階評価)結果
	路上工事時間	時間/km・年	道路1kmあたりの、路上工事に伴う年間の交通規制時間
	ボランティアサポートプログラムの参加団体数	件	地域住民や企業の皆さん、市町村、道路管理者の協力により行う道路の美化活動の支援団体数

管内の状況

方針1:交通渋滞を緩和し、地域間交流を促進する道づくり

全国ワースト6位、3大都市圏以外では最も大きい渋滞損失時間

沖縄県の1km当たり渋滞損失時間は4.1万人時間／年・キロと全国平均（同20.3千人時間／年・キロ）2倍以上と、全国ワースト6位の低水準（3大都市圏以外の都道府県では最も大きい）となっており、全国的に渋滞が著しい地域となっています。



表 1km当たり渋滞損失時間ワースト地域(H14)	
都道府県	1km当たり渋滞損失時間(万人時間/年・キロ)
1 東京都	13.7
2 大阪府	10.8
3 神奈川県	7.6
4 埼玉県	5.4
5 愛知県	4.9
6 沖縄県	4.1
7 千葉県	4.1
8 宮城県	3.6
9 静岡県	3.4
10 京都府	3.2
全国平均	2.0

資料：国土交通省資料

国道58号那覇～北谷間沿線において、ワースト10区間中7区間が分布し、特に渋滞が著しい

センサス区間別キロあたり渋滞損失時間では、国道58号にてワースト10区間中7区間を占めており、特に那覇市(1020～23)や浦添市(1019～20)、北谷町区間(1016～17)にて著しい状況です。また、国道329号の国道58号合流部(1042)や国道330号(1043)においても、渋滞が著しい状況となっています。

表 センサス区間別キロあたり渋滞損失時間(H17)

順位	路線名	センサス番号	地点名	1km当たり渋滞損失時間(時間/年・km)	対象事業
1	国道 58 号	1022	那覇市久茂地2丁目	1,228,628	那覇西道路
2	国道 58 号	1023	那覇市旭町	1,184,611	那覇西道路
3	国道 58 号	1021	那覇市天久	743,666	(那覇北道路)
4	国道 58 号	1016	北谷町字桑江	666,582	(北谷地区)
5	国道 58 号	1019	浦添市牧港1丁目	633,472	浦添北道路、(浦添南道路)
6	国道 58 号	1020	浦添市勢理客	595,736	(浦添南道路)
7	国道 58 号	1017	宜野湾市宇伊佐	410,415	(北谷地区)
8	国道330号	1043	沖縄市胡屋1丁目	387,961	コザ交差点改良
9	国道329号	1042	那覇市字壺川	377,628	豊見城東道路
10	国道331号	1055	那覇市字垣花	356,550	那覇西道路

資料：南部国道事務所資料



図 センサス区間別キロあたり渋滞損失時間ワースト10区間位置

方針2:安全で安心な道づくり

管内の死傷事故件数は年々増加傾向にある

南部国道管内の交通事故死者数は漸減傾向にあるものの、死傷事故件数は年々増加しており、平成17年は対前年比で約1%増加となっています。

これに伴い死傷事故率も増加傾向にあり、交通事故への対応が不可欠となっています。

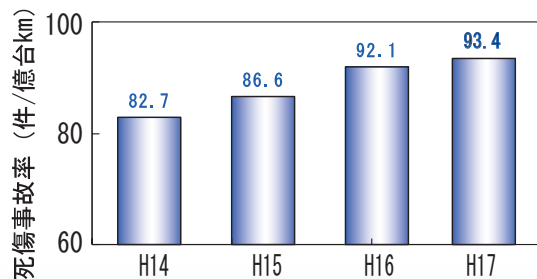


図 南部国道管内死傷事故率推移

資料：交通白書(死傷事故件数)
国土交通省資料(走行台キロ)

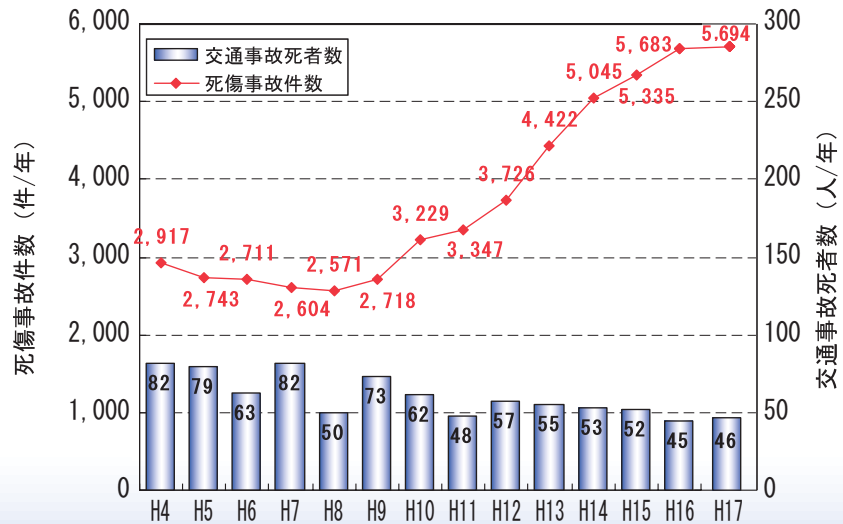


図 管内死傷事故件数等の推移(全道路)

資料：交通白書

直轄国道では常に全道路を上回る伸び率で、特に那覇都市圏内に事故が集中

死傷事故件数伸び率(H8を基準)をみると、直轄国道では一貫して全道路の増加率を上回って推移しており、特に那覇市やその周辺地域における死傷事故率が高くなっています。

南部国道では、優先的に死傷事故率が高くまた死傷事故件数の多いところや事故危険箇所、あんしん歩行エリア等での事故対策を実施していきます。

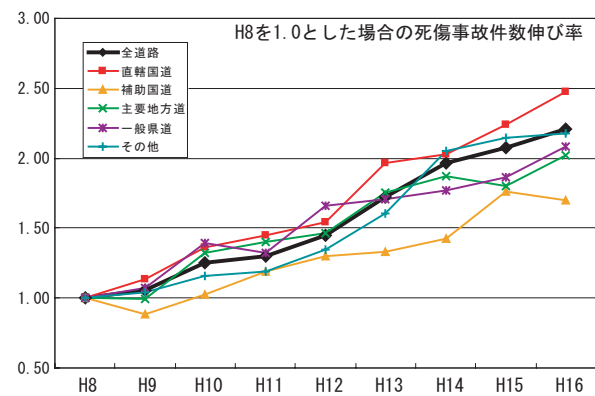


図 道路種別ごとの死傷事故件数伸び率

資料：交通白書・事故統合データベース
※その他：高速道路、市町村道等および道路種別不明

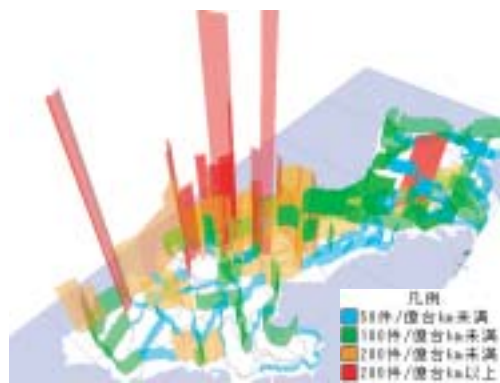


図 南部国道管内死傷事故率3Dマップ(H17:県道以上)

資料：国土交通省資料(H16走行台キロ)
事故統合データベース(H15死傷事故件数)

方針3:沖縄の観光を支援する道づくり

観光客の評価では“道路の渋滞”が低く、「最も優先して欲しい対策」として挙げている

南部国道管内の道路に対する観光客の評価を見ると、“道路の渋滞”に対する評価が全項目中最も低く、「渋滞対策」を最も優先して欲しい対策として挙げている

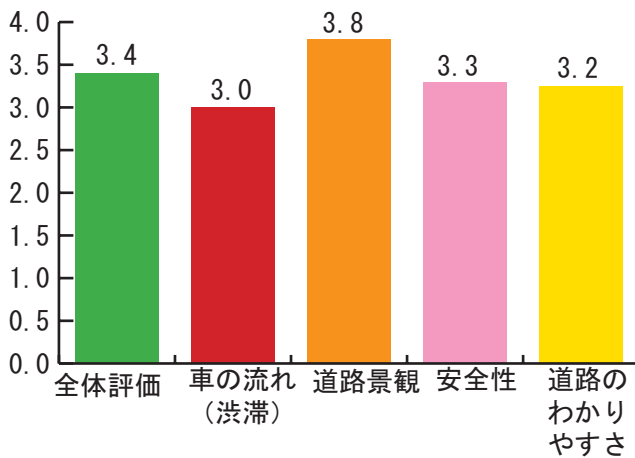


図 南部国道の道路に対する評価(5段階)

資料：レンタカー利用観光客に対する満足度調査結果(南部国道:H18年)

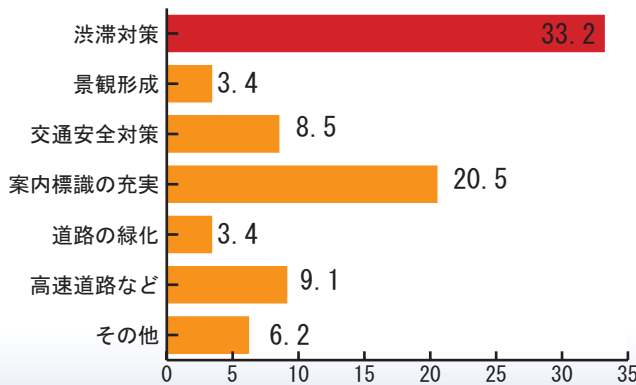


図 最も優先して欲しい対策

資料：レンタカー利用観光客に対する満足度調査結果(南部国道:H18年)

方針4:環境に配慮した道づくり

南部国道管内の夜間騒音の環境基準達成状況は、約80%となっている状況

南部国道管内における、夜間騒音の環境基準達成状況は約80%となっており、2割の区間が未達成の状況となっています。

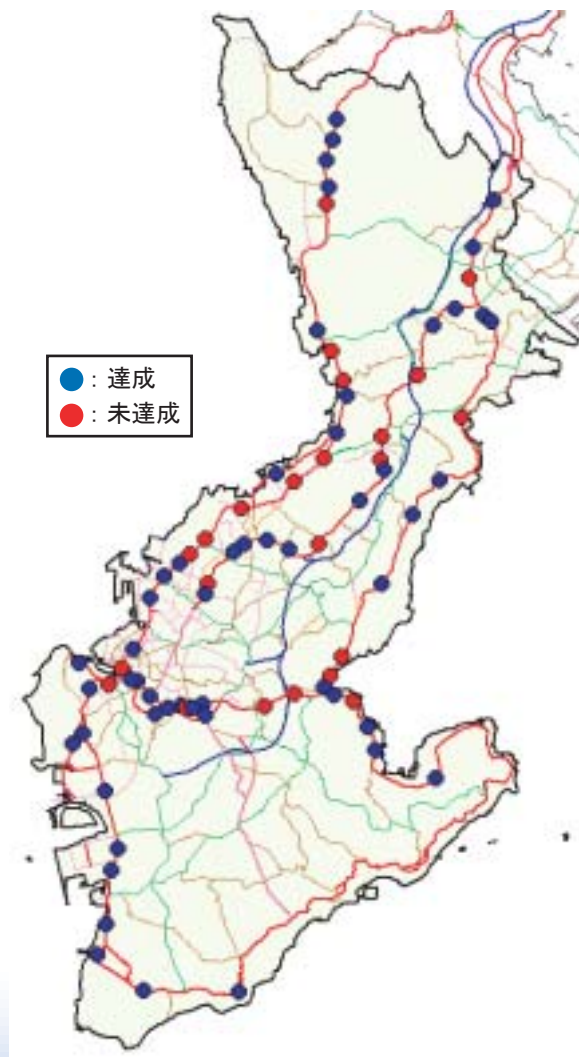


図 夜間騒音環境基準達成状況(H18年度)

資料：H17年道路環境センサス



10

都市交通の円滑化

那覇都市圏は、県全体の渋滞損失時間の5割以上を占め、交通円滑化が急務となっています。

現状：那覇都市圏の渋滞における課題

①高い自家用車の依存率

沖縄県では、通勤・通学における自動車への依存度が非常に高く、全国の自家用車利用割合自動車依存度は全国平均の約1.5倍となっており、全体の約6割を占めています。その結果、那覇都市圏の渋滞は著しく、沖縄県の渋滞の5割以上が集中する状況となっています。

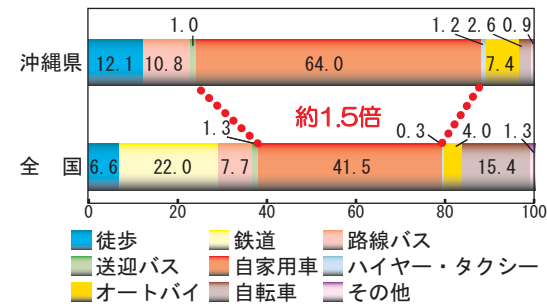


図 通勤通学の移動手段構成

資料：国勢調査 (H12)

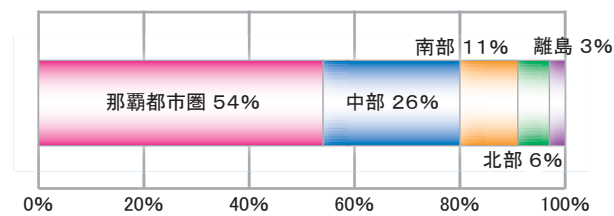


図 渋滞損失時間の地域構成

資料：沖縄総合事務局資料

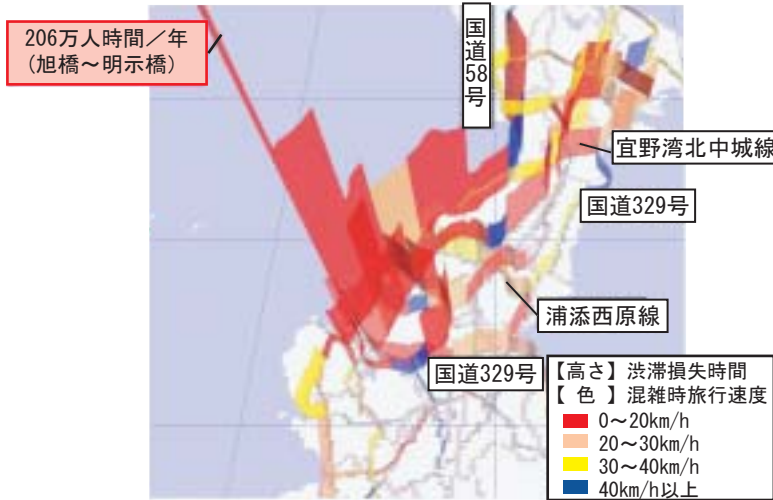


図 渋滞損失時間の状況

資料：沖縄総合事務局資料

②渋滞時による走行速度の低下

那覇市内では車の流れが悪い環境にあり、朝夕ピーク時の旅行速度は大阪市、東京都(特別区)よりも遅く、全国でワースト1位(約14km/h)となっています。

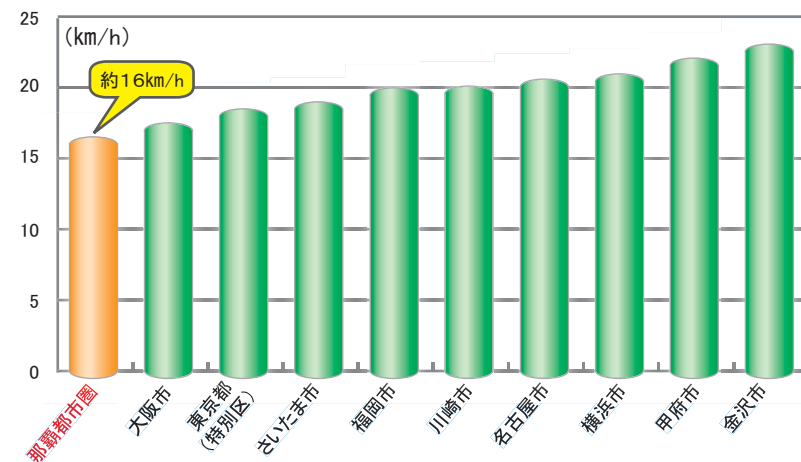


図 混雑時旅行速度ワースト10

資料：沖縄総合事務局資料

③通勤・通学時間帯への交通の集中

那覇都市圏に集中する交通を北・南・東の断面毎・時間帯で見ると、北部断面の朝ピークの交通集中が著しい状況にあり、朝夕のピークを中心に、慢性的に交通量が交通容量を上回っている状況です。

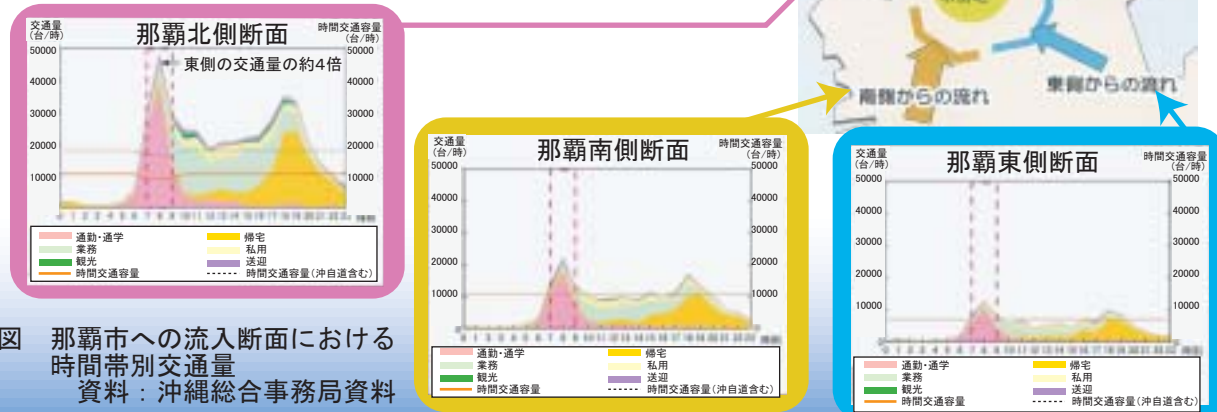


図 那覇市への流入断面における時間帯別交通量

資料：沖縄総合事務局資料

対応策：3つの分散による交通円滑化施策

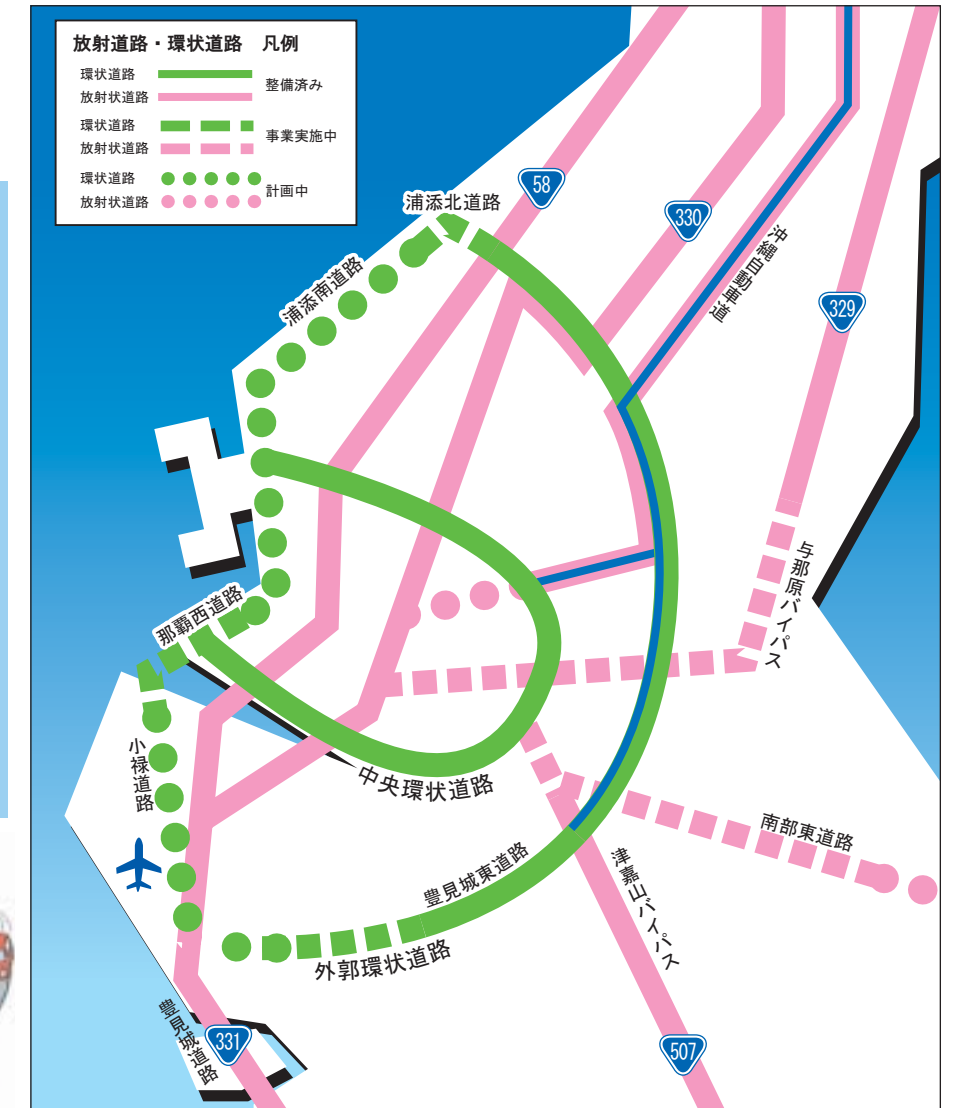
分散①：交通経路の分散

交通経路の分散とは、渋滞している道路を避けて、比較的空いている道路へ経路を変える交通施策です。

2環状7放射道路が分散を可能に！

那覇市街地を中心として、環状及び放射状の道路を整備することで、那覇市街地に向かう交通の経路選択「交通経路の分散」を図ります。

例えば、渋滞する時間帯には、北側から那覇市街地に向かうところを、環状道路を介して東側から向かうといった移動経路の変更が可能となります。



分散②：交通手段の分散

交通手段の分散とは、自動車交通から、公共交通機関(バス、モノレール)や自転車へ移動手段を変える交通施策です。

バスレーンにより渋滞の影響を受けない路線バスや、定時制の高いモノレールへの交通手段を変更することにより、定時制が確保されます。



分散③：交通利用時間の分散

交通利用時間の分散とは道路が渋滞している時間帯を避けて、その前後に移動時間帯を変える交通施策です。

混雑時を避けることにより、移動時間の短縮や地球温暖化の原因のひとつである二酸化炭素の排出量の削減にも寄与されます。



ハシゴ道路の構築

沖縄県における「道路のアンバランスな使われ方」や「那覇都市圏の深刻な交通渋滞」、「東西分断による沖縄自動車道ICへのアクセス性の低下」等の交通問題を解消するために『ハシゴ道路』の整備を促進します。



地域高規格道路 那覇空港自動車道

第四次全国総合開発計画(昭和62年6月)において、21世紀に向け多極分散型の国土を形成する為全国で14,000kmの高規格幹線道路網の必要性が提唱されました。高規格幹線道路網を形成する那覇空港自動車道は、沖縄県最大の広域交通拠点である那覇空港と沖縄自動車道を結ぶ、一般国道の自動車専用道路として昭和62年6月に指定されたものであり、沖縄県の経済活性化、観光の振興、高速性定時性の確保に大きく寄与するものです。

たくさんの夢を乗せて、道は空へと続く。

■計画の概要

事業名	延長	連結位置	連結道路名	連結施設名
南風原道路	5.9km	西原町字池田	沖縄自動車道	西原JCT
		南風原町字与那覇	国道329号	南風原北IC
		南風原町字山川	国道507号BP	南風原南IC
豊見城東道路	6.2km	豊見城市平良	県道7号線	豊見城IC
		豊見城市名嘉地	国道331号	那覇空港南IC(仮称)
小禄道路	(調査中)			

■事業の経緯

事業の手順	南風原道路 (延長5.9km)	豊見城東道路 (延長6.2km)	小禄道路 (延長約8km)
高規格幹線道路指定	S62.6.30	S62.6.30	S62.6.30
基本計画決定	H1.8.8	H1.8.8	
都市計画決定	H2.7.17	H2.7.17	
整備計画決定	H2.11.1	H2.11.1	
事業開始	S63年度	H3年度	
用地買収着手	H2年度	H5年度	
工事着手	H4年度	H8年度	
完成供用(予定)	H12.6	H19年度予定 (全線暫定供用)	(21世紀初頭)



I. 現状と課題

○道路のアンバランスな使われ方

◆交通容量を超過する国道に対し、
沖縄自動車道には余裕が存在！

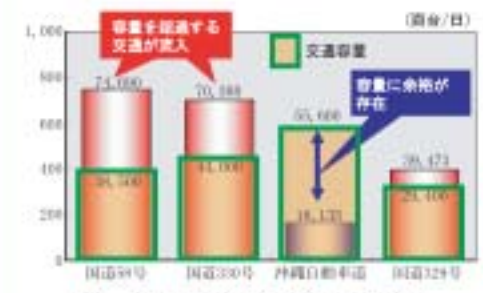


図 那覇市～西原町の断面交通量
資料：道路交通センサス

○深刻な交通渋滞

◆沖縄県の渋滞損失時間の約
6割が那覇都市圏で発生！



図 キロ当たり渋滞損失時間 (H16年)

○米軍基地による地域分断

◆基地などによる地域分断から
高速道路の利便性が低下！

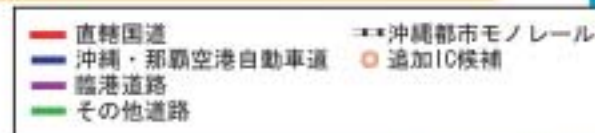


図 国道58号から沖縄自動車道ICへのアクセスルート

II. 『ハシゴ道路』の整備計画

○4つの要素を基本に『ハシゴ道路』の整備を実施

- ①南北を走る強固な『3本の柱』
～国道58号(西海岸道路を含む)、国道329号
- ②柱を支える『東西連絡道路』
～基地跡地の活用～
- ③高速を使いやすくするICの増設
～スマートICの整備～
- ④モノレールと高速バスの連携
～シームレスな乗換えの実現～



III. 『ハシゴ道路』に期待される効果

○道路のアンバランスな 使われ方の解消

◆国道58号等の南北幹線道路の
混雑緩和

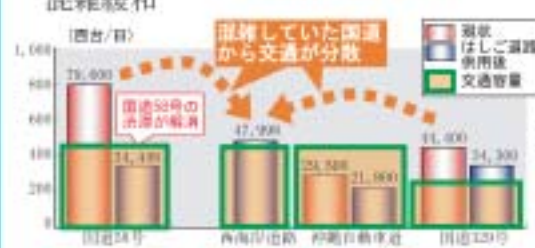


図 那覇市～西原町の断面交通量
資料：交通量配分結果

○交通渋滞の改善

◆交通渋滞による渋滞損失
時間が4割削減！



図 渋滞損失時間の推移
資料：交通量配分結果

○高速道路ICへの アクセス時間短縮

◆高速ICまでの所要時間の
短縮により、高速道路の
利便性が向上！(高速
ICまで10分で到着でき
る人口が39万人増加)



図 高速IC10分到達人口の推移

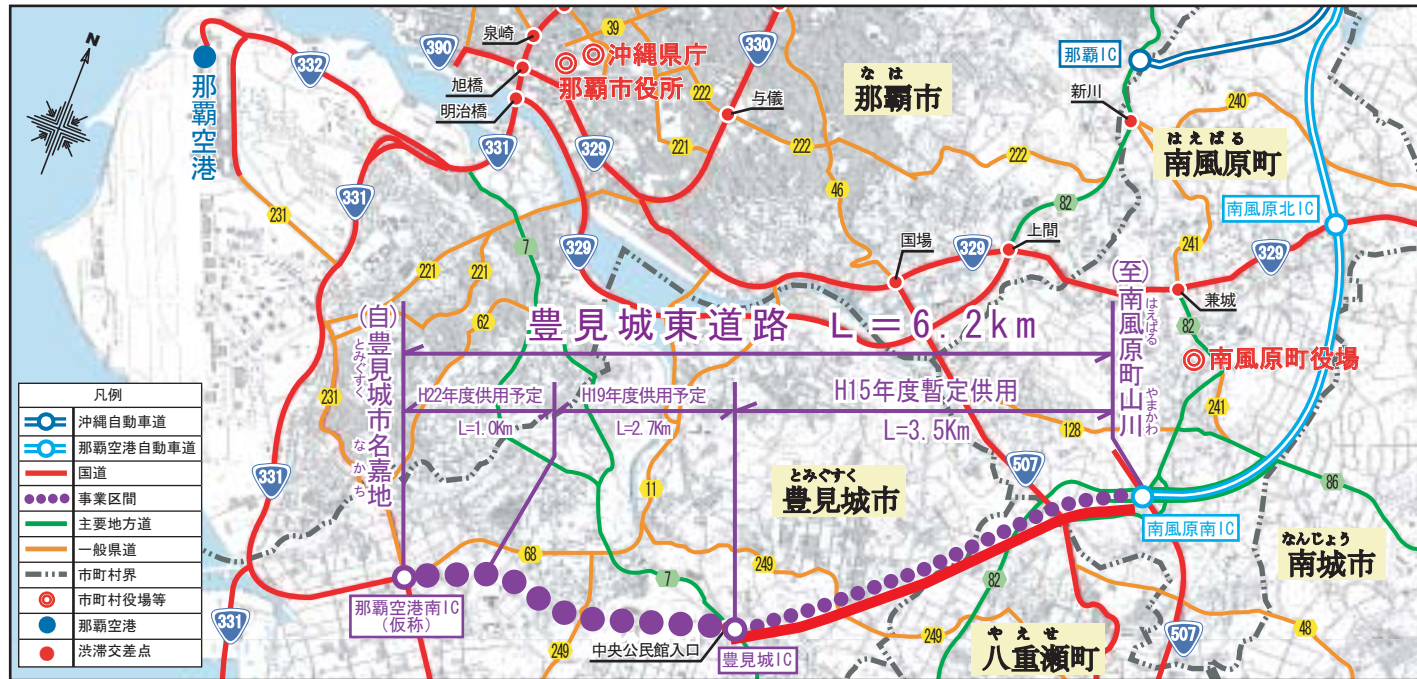


高規格道路 とみぐすく ひがし 豊見城東道路

交通渋滞の緩和に向けた道づくり すべての人に安全で安心な道づくり 沖縄の観光を支援する道づくり 環境に配慮した道づくり

平成19年度は、那覇空港南IC(仮称)までの全線暫定供用を目指し、用地買収及び工事促進を図ります。

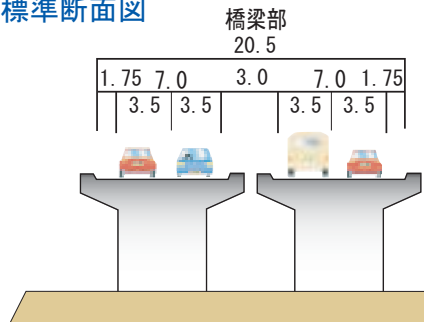
お約束プロジェクト対象事業
平成19年度末に
豊見城市名嘉地～豊見城市平良の
約2.7kmを供用します
平成22年度末に豊見城市名嘉地の
約1.0kmを供用します



設計緒元

道路規格	第1種 第3級
区 間	自：豊見城市名嘉地 至：南風原町山川
延 長	6,200m
設計速度	V=80km/h
車 線 数	4車線
道路規格	構造物延長
全体延長	6.2km
橋 梁	4.3km (69.4%)
トンネル	1.0km (16.1%)
開削トンネル	0.5km (8.1%)
土 工	0.4km (6.4%)

標準断面図



期待される効果

国道329号那覇市内区間(現道・BP)の渋滞が緩和され、渋滞損失時間が削減！

現状 250 万人時間/年
整備後 207 万人時間/年
17% 削減

那覇空港～名護間の所要時間が削減！

現状 124 分
整備後 111 分
13分 短縮

那覇空港～最寄りインターチェンジ間の所要時間が短縮！

現状 20 分
整備後 9 分
11分 短縮

地域高規格道路 沖縄西海岸道路

読谷村から糸満市に至る延長約50kmの道路であり、高規格幹線道路である那覇空港自動車道と、那覇空港、那覇港といった広域交通拠点を相互に連絡します。

また、恩納海岸地区(ラブリーサンセットリゾート)、南部西海岸地域の産業拠点となる糸満工業団地等と那覇市、空港等を連絡することにより観光の支援、地域の活性化、地域振興プロジェクトの支援に資する道路として整備します。



沖縄西海岸道路計画概要

地 区 名	豊見城・糸満地区	小緑地区	那覇地区	浦添地区	宜野湾地区	北谷地区	読谷・嘉手納地区
通 過 市 町 村 名	糸満市	豊見城市・那覇市・浦添市・宜野湾市・北谷町・嘉手納町	読谷村				
延 長	約50km						
道 路 の 区 分	4種1級	1種3級					
設 計 速 度	60km/h	80km/h					
調査、事業化経緯等	糸満道路 L=3.4km H2事業化 豊見城道路 L=4.0km H元 事業化	調査中	那覇西道路 L=3.0km H4 事業化	那覇北道路 L=2.2km H6 事業化 H12 休止	調査中	浦添北道路 L=2.0km H18事業化	読谷道路 L=6.0km S62 事業化 嘉手納バイパス L=3.2km S62 事業化

地域高規格道路とは

地域高規格道路とは高規格幹線道路と一体となって、通勤圏の拡大や都市と農村地域との連携の強化等による地域集積圏の拡大(連携機能)、高規格幹線道路を補完し、物資の流通、人の交流の活性化を促す地域集積圏間の交流を図り(交流機能)、空港・港湾等の広域交流拠点や地域開発拠点等との連絡(連絡機能)を図るための道路であり、自動車専用道路またはこれと同程度の機能を有し、高速サービスを提供できる道路として整備します。

高規格幹線道路

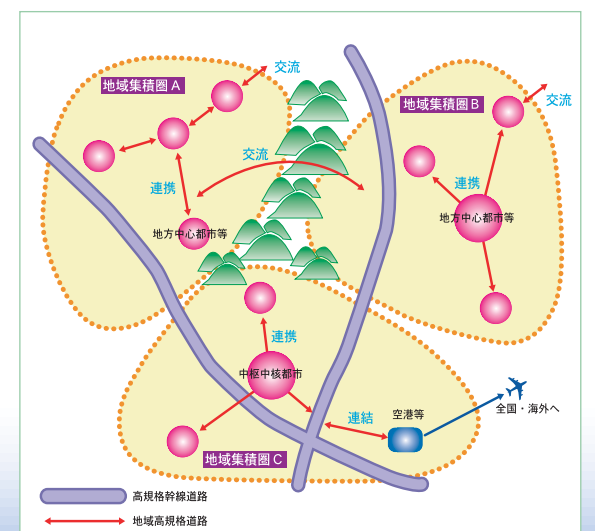
サービス速度80~100km/h

地域高規格道路

サービス速度60~80km/h

広域的な幹線道路

サービス速度35km/h程度





地域高規格道路 読谷道路・嘉手納バイパス

交通渋滞の緩和に向けた道づくり すべての人に安全で安心な道づくり 沖縄の観光を支援する道づくり 環境に配慮した道づくり

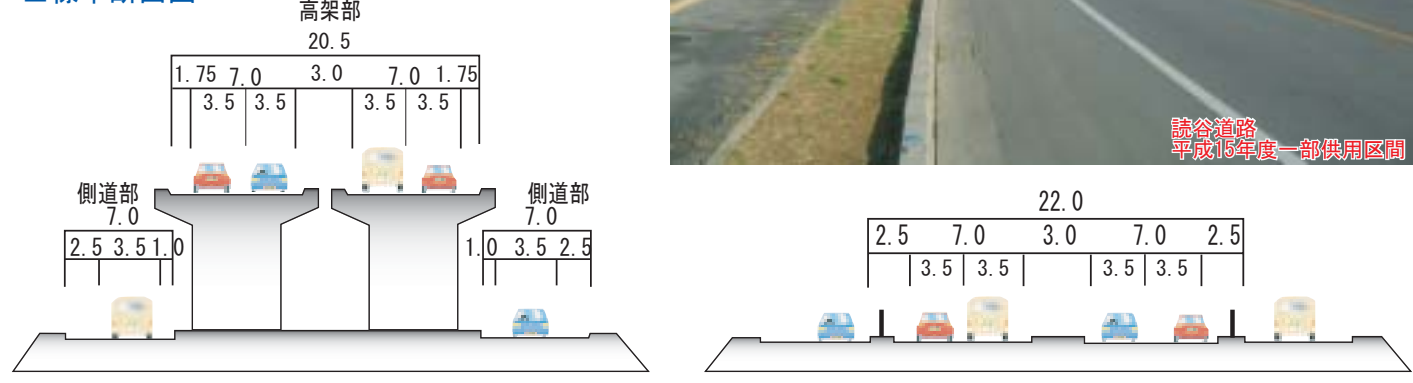
読谷村～嘉手納町間の慢性的交通渋滞の解消を図るため計画されたものであり、平成6年度に地域高規格道路に指定されました。
平成19年度については、調査設計及び用地買収、工事促進を図ります。



設計緒元

道路規格	第1種	第3級
区間	読谷道路 自：読谷村親志 至：読谷村古堅	嘉手納バイパス 自：読谷村古堅 至：嘉手納町兼久
延長	6,000m	3,200m
設計速度	V=80km/h	
車線数	4車線	

標準断面図



期待される効果

国道58号現道部の渋滞が緩和され、渋滞損失時間が削減！

現状	115	40%削減	整備後	70
万人時間/年			万人時間/年	

国道58号現道部の安全性が向上し、死傷事故率が削減！

現状	43	14%削減	整備後	37
件/億台キロ			件/億台キロ	

那覇空港～残波岬間の所要時間が短縮！

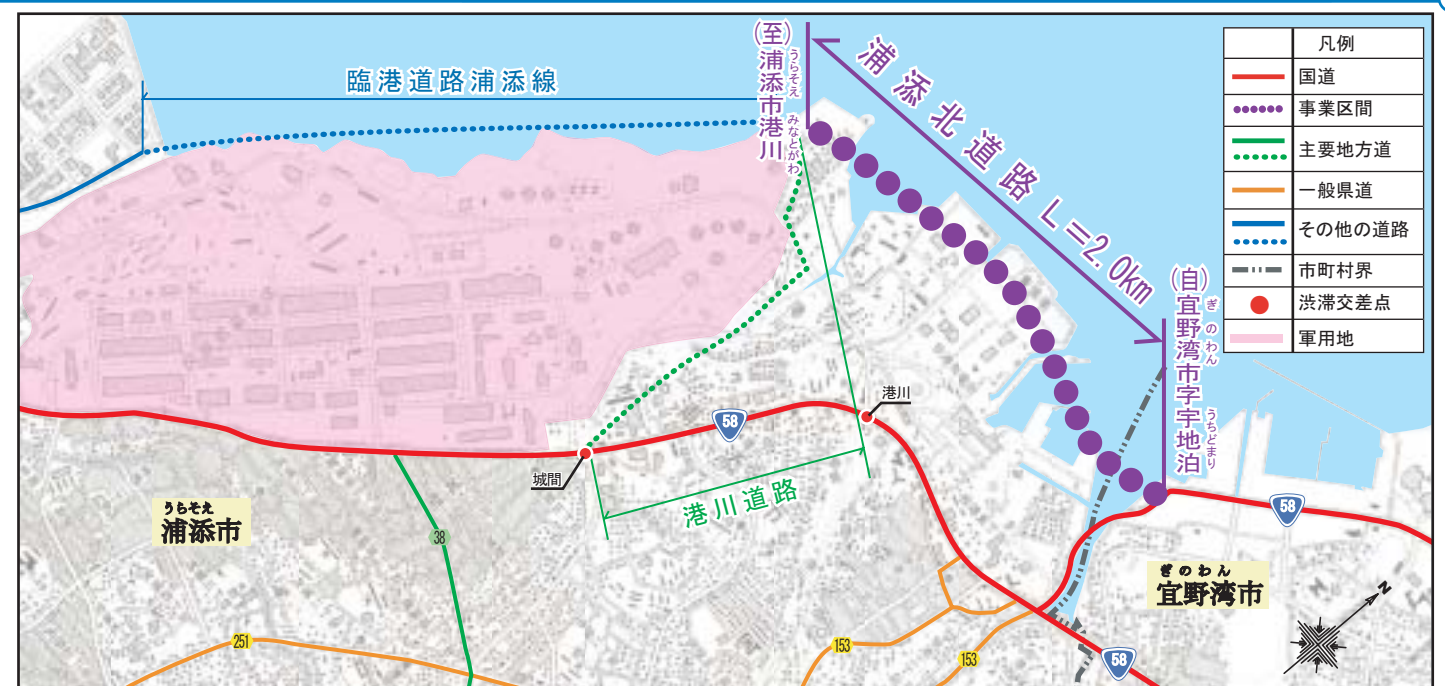
現状	80	20分短縮	整備後	60
分			分	

地域高規格道路 浦添北道路



交通渋滞の緩和に向けた道づくり すべての人に安全で安心な道づくり 沖縄の観光を支援する道づくり 環境に配慮した道づくり

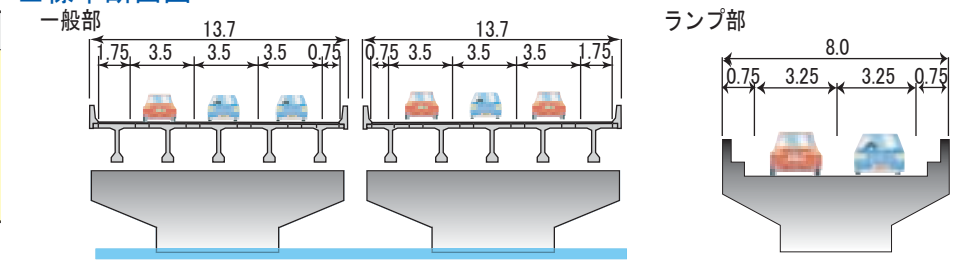
浦添北道路については、国道58号の混雑緩和、物流機能の向上等を目的としており、平成6年度に地域高規格道路に指定されました。
平成19年度には、橋梁実施設計及び用地測量、地質調査を実施する予定です。



設計緒元

道路規格	第1種	第3級
区間	自：宜野湾市字地泊	至：浦添市港川
延長	2,000m	
設計速度	V=80km/h	
車線数	4車線	

標準断面図



期待される効果

渋滞損失時間が削減！

現状	184	68%削減	整備後	58
万人時間/年			万人時間/年	

CO2排出量が削減！

現状	2.6	23%削減	整備後	2.0
万t-CO2/年			万t-CO2/年	

那覇空港～沖縄コンベンションセンター間の所要時間が削減！

現状	52	18分短縮	整備後	34
分			分	



地域高規格道路 那覇西道路

交通渋滞の緩和に向けた道づくり 全ての人に安全で安心な道づくり 沖縄の観光を支援する道づくり 環境に配慮した道づくり

那覇西道路については、国道58号の混雑緩和、那覇空港へのアクセス向上、那覇港の機能向上等を目的としており、平成6年度に、地域高規格道路に指定されました。
平成19年度は、用地買収及び工事促進を図ります。

お約束プロジェクト対象事業
平成22年度末に
那覇市若狭～那覇市鏡水の
約3.0kmを供用します

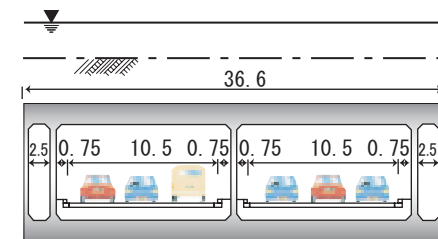


設計緒元

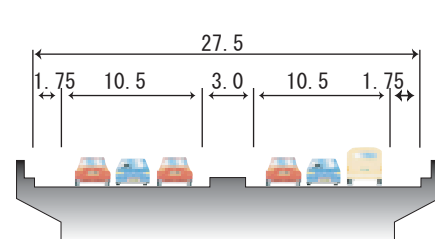
道路規格	第1種	第3級
区間	自：那覇市若狭 至：那覇市鏡水	
延長	3,000m	
設計速度	V=80km/h	
車線数	6車線	

標準断面図

沈埋トンネル部



一般部

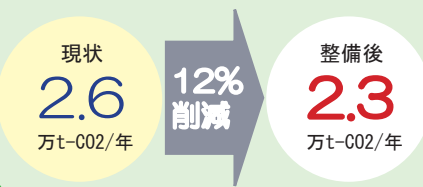


期待される効果

国道58号那覇市泊～国道332号の渋滞が緩和され、渋滞損失時間が削減！



国道58号那覇市泊～国道332号のCO2排出量が削減！



那覇空港～那覇新港間の所要時間が削減！

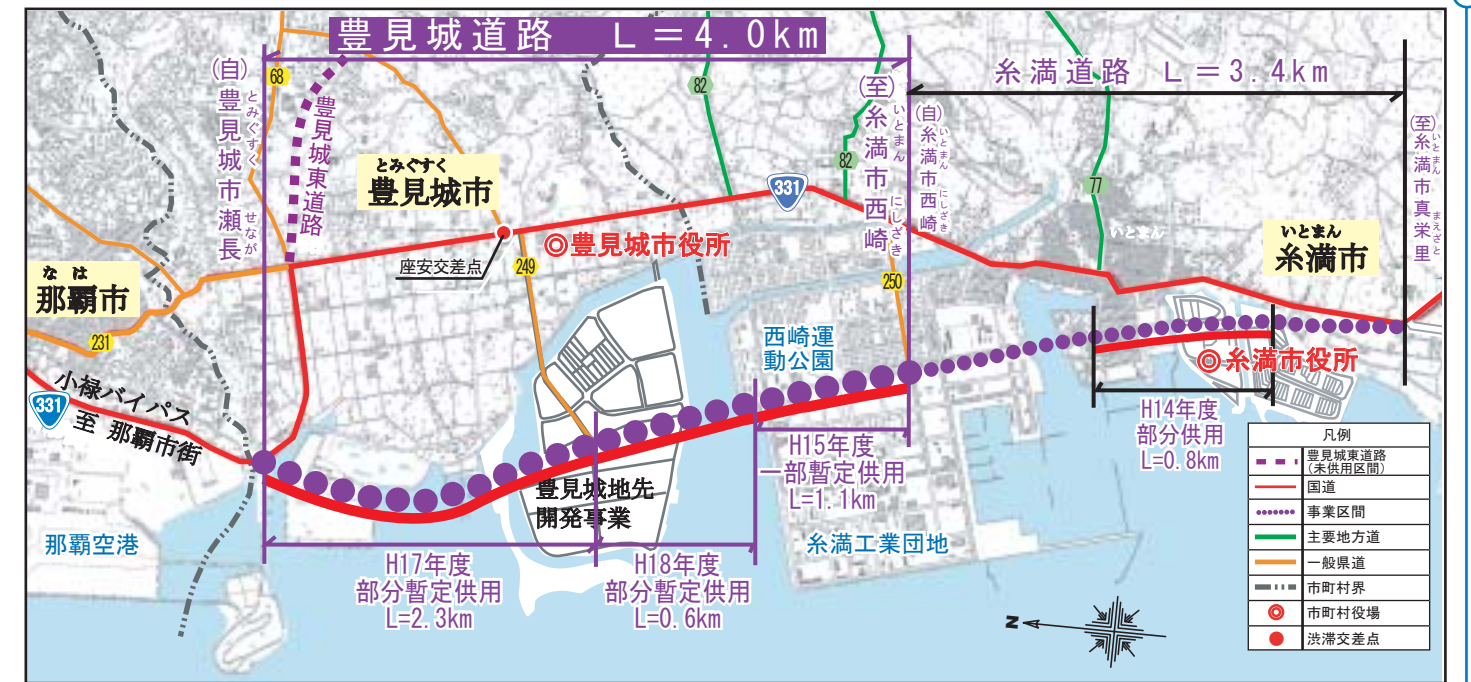


地域高規格道路 豊見城道路



交通渋滞の緩和に向けた道づくり 全ての人に安全で安心な道づくり 沖縄の観光を支援する道づくり 環境に配慮した道づくり

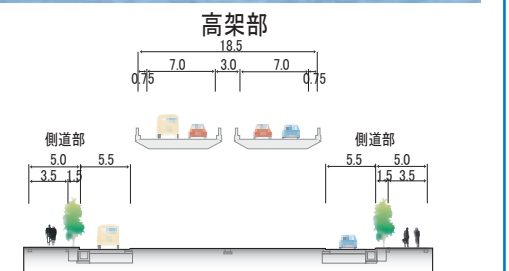
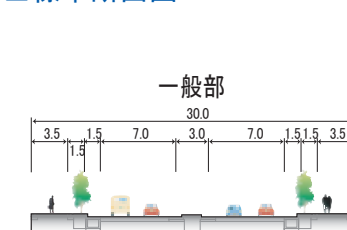
豊見城市～那覇市間の慢性的交通渋滞の解消を図るために計画されたものであり、平成6年度に地域高規格道路に指定され、平成19年3月には豊見城道路全線暫定供用を行いました。
平成19年度は本線部分の暫定供用に向けた工事促進を図ります。



設計緒元

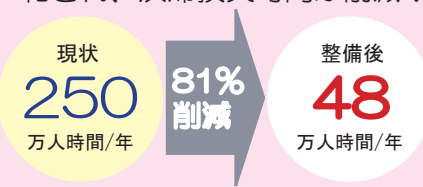
道路規格	第4種	第1級
区間	自：豊見城市瀬長 至：糸満市西崎	
延長	4,000m	
設計速度	V=60km/h	
車線数	4車線	

標準断面図

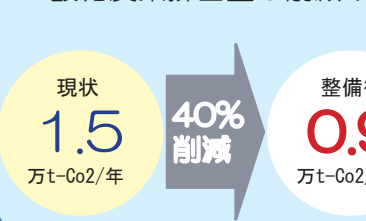


期待される効果

国道331号現道部の渋滞が緩和され、渋滞損失時間が削減！



二酸化炭素排出量が削減！



那覇空港～糸満工業団地間の所要時間が短縮！

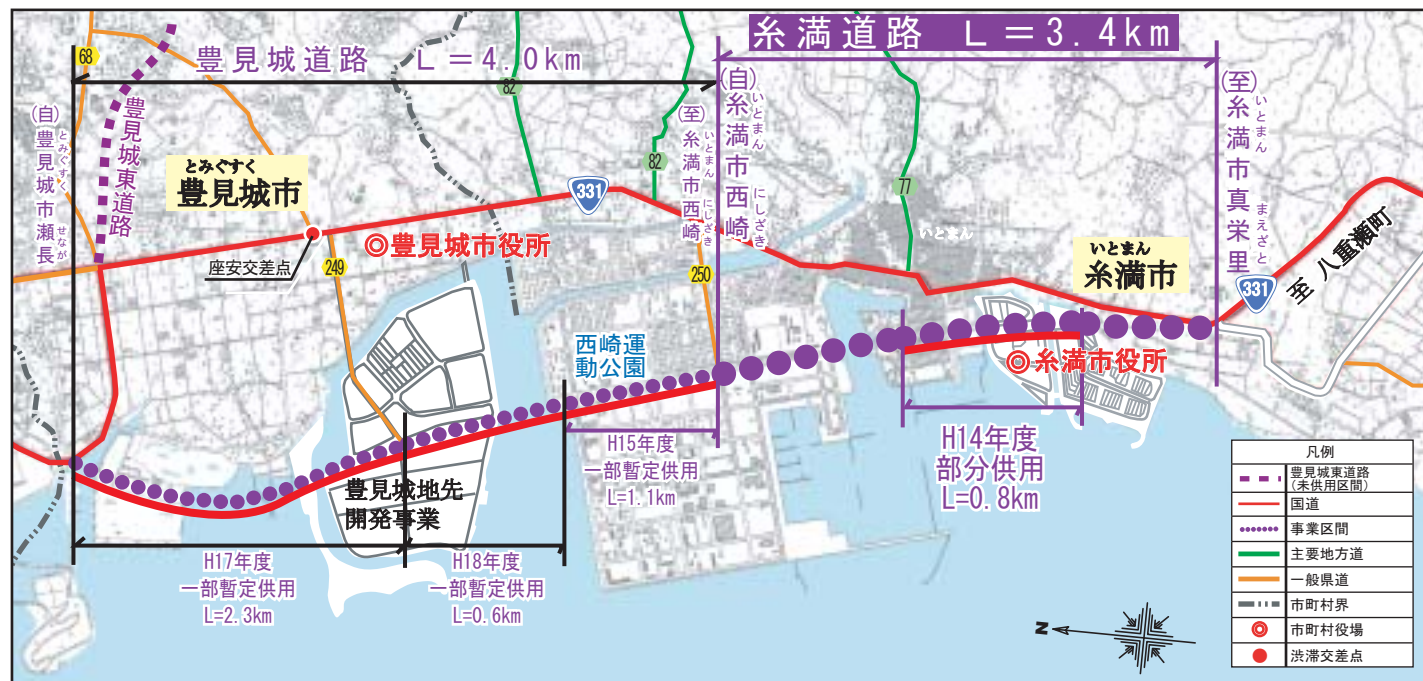




国道 331 ROUTE 地域高規格道路 糸満道路

糸満市～那覇市間の慢性的交通渋滞の解消を図るために計画された延長3.4kmのバイパスであり、平成6年度に地域高規格道路に指定されました。
平成19年度は、平成20年代前半の供用を目標に、用地買収及び工事促進を図ります。

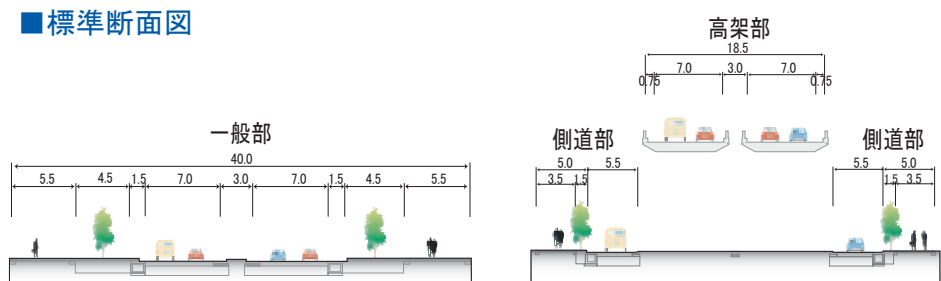
- 交通渋滞の緩和に向けた道づくり
- 沖縄の観光を支援する道づくり
- すべての人に安全で安心な道づくり
- 環境に配慮した道づくり



設計緒元

道路規格	第4種 第1級
区間	自：糸満市西崎 至：同市真栄里
延長	3,400m
設計速度	V=60km/h
車線数	4車線

標準断面図



期待される効果

国道331号現道部の渋滞が緩和され、渋滞損失時間が削減！

現状 134 万人時間/年

87% 削減

整備後 18 万人時間/年

国道331号現道部の安全性が向上し、死傷事故率が削減！

現状 150 件/億台キロ

56% 削減

整備後 65 件/億台キロ

那覇空港～ひめゆりの塔間の所要時間が短縮！

現状 30 分

11分 短縮

整備後 19 分

一般2次改築 国道 329 ROUTE 与那原バイパス・南風原バイパス

与那原バイパスは、橋梁・構造物等の設計を進め、用地買収及び工事を促進、南風原バイパスは、用地買収及び橋梁予備設計及び工事促進を図ります。

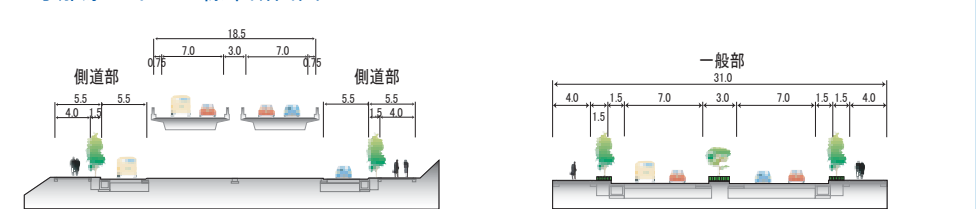
- 交通渋滞の緩和に向けた道づくり
- すべての人に安全で安心な道づくり
- 沖縄の観光を支援する道づくり
- 環境に配慮した道づくり



与那原バイパス設計緒元

道路規格	第4種 第1級
区間	自：西原町小那覇 至：南風原町与那覇
延長	4,200m
設計速度	V=60km/h
車線数	4車線

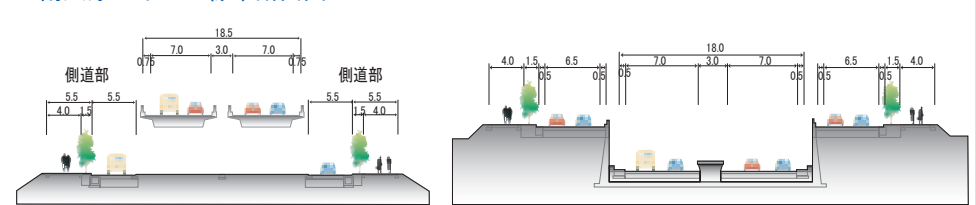
与那原バイパス標準断面図



南風原バイパス設計緒元

道路規格	第4種 第1級
区間	自：南風原町与那覇 至：那覇市上間
延長	2,800m
設計速度	V=60km/h
車線数	4車線

南風原バイパス標準断面図



期待される効果

国道329号現道部の渋滞が緩和され、渋滞損失時間が削減！

現状 194 万人時間/年

60% 削減

整備後 77 万人時間/年

国道329号現道部の安全性が向上し、死傷事故率が削減！

現状 149 件/億台キロ

35% 削減

整備後 96 件/億台キロ

那覇市～与那原町間の所要時間が短縮！

現状 30 分

11分 短縮

整備後 19 分



国道331 ROUTE 一般二次改築

摩文仁改良

すべての人に安全で安心な道づくり 沖縄の観光を支援する道づくり

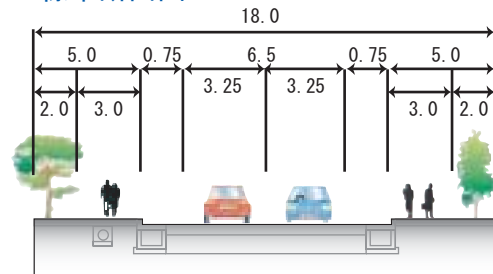
糸満市大度～八重瀬町字仲座間は平面線形が悪く、幅員も狭小で、幹線道路としての機能が著しく低下し、島尻振興開発及び交通安全上大きな障害となっています。摩文仁改良は、平成5年度に交通安全対策事業として事業化されました。平成19年度は、用地買収の促進を図ります。



■設計緒元

道 路 規 格	第3種 第2級
区 間	自：糸満市大渡 至：八重瀬町仲座
延 長	2,000 m
設 計 速 度	$V=60 \text{ km/h}$
車 線 数	2車線

■標準断面図



期待される効果

国道331号現道部の安全性が向上！

- 現道の状況
見通しの悪いカーブが存在し、自動車走行時等の安全性が低い



国道331号
(糸満市摩文仁)



南部地域の観光に寄与！！

- 豊かな観光施設を有する南部地域の周遊性が向上！
- 街路樹の整備により、景観性が向上！



一般二次改築
なか やま かい りょう
中山改良

すべての人に安全で安心な道づくり 沖縄の観光を支援する道づくり

南城市玉城字中山地区は、平面線形、縦断線形ともに悪い箇所が随所にあり、交通事故も多く発生しています。

中山改良はその交通安全対策事業として計画された延長2.08kmのバイパスで、平成2年度に事業化されました。

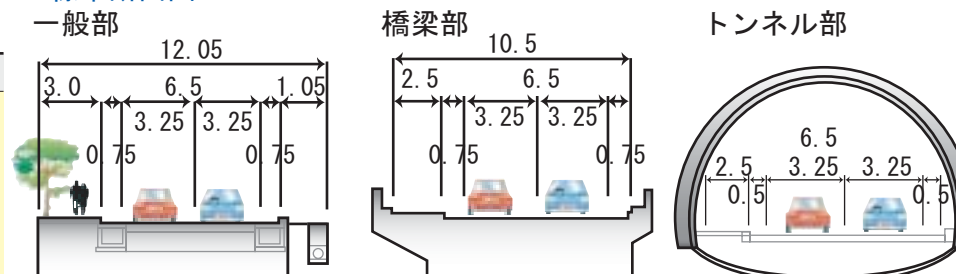
平成19年度は、用地買収及び工事の促進を図ります。



■設計緒元

道 路 規 格	第3種 第2級
區 間	自：南城市玉城字志堅原 至：同市 玉城字中山
延 長	2,080 m
設 計 速 度	V=60 km/h
車 線 數	2車線

■標準断面図



期待される効果

国道331号現道部の安全性が向上！

- 現道の状況
見通しの悪いカーブが存在し、自動車走行時等の安全性が低い



国道331号
(八重瀬町中山)



南部地域の観光に寄与！！

- 車中から太平洋が一望出来る等、景観性が向上！
- 多くの文化財や観光レジャー施設を有する同地域の周遊性が向上！



中山改良完成イメージ

道路事業の促進にあたっては事業用地の確保が大前提となります。県内における交通手段は、車両に対する依存度が最も高く、早急な道路整備が望まれており、幹線道路網整備のため高規格道路及び地域高規格道路等の事業用地の取得を行っています。また、歩行者安全確保の見地から歩道等の交通安全施設の整備も必要となっております。これらの事業に必要な用地の取得にあたっては「公共用地の取得に伴う一般補償基準」に基づき、公平かつ適正に補償を行っています。公共用地の取得にあたっては、土地所有者等と十分に話し合いを行い、事業に対する理解と協力を得られるよう誠意をもって任意で協議を進めておりますが、どうしても任意で取得できない場合においては、土地収用制度の活用による取得を行います。

用地補償の流れ

道路は公共財産です。
これらの用地買収や
そのための補償を
行っています。

1 事業計画説明会



道路をつくる目的や計画の内容について説明を致します。

2 土地の測量



土地所有者や隣接地所有者の立会いのもとで、測量を行ない取得する面積を確定いたします。

3 用地説明会



土地や建物、立竹木などについて調査の方法及び補償内容について説明いたします。

4 建物・工作物・立竹木等の調査



建物や工作物、立竹木等は所有者ごとにその種類、構造、数量等について調査いたします。

5 補償額の算定



土地の価格、建物、工作物などの補償額は国が定めた「補償基準」に基づいて適正かつ公平に算定いたします。

6 協議



算定した補償金額を提示し、補償内容をご理解いただけるよう、所有者及び関係者の方々に個別に説明いたします。

7 契約



用地協議が整いますと、土地建物の所有者及び関係者の方々と個別に契約いたします。

8 土地移転登記、物件の移転



譲っていただいた土地は、土地所有者等関係者の方々に必要書類を提出していただき、当事務所で登記を行います。建物等物件の移転については各人で行っていただきます。

9 補償金の完了払い

所有者による建物等物件の移転が完了した後、起業者による移転完了等の確認が行われ、土地の引渡しが完了すると後金が支払われます。



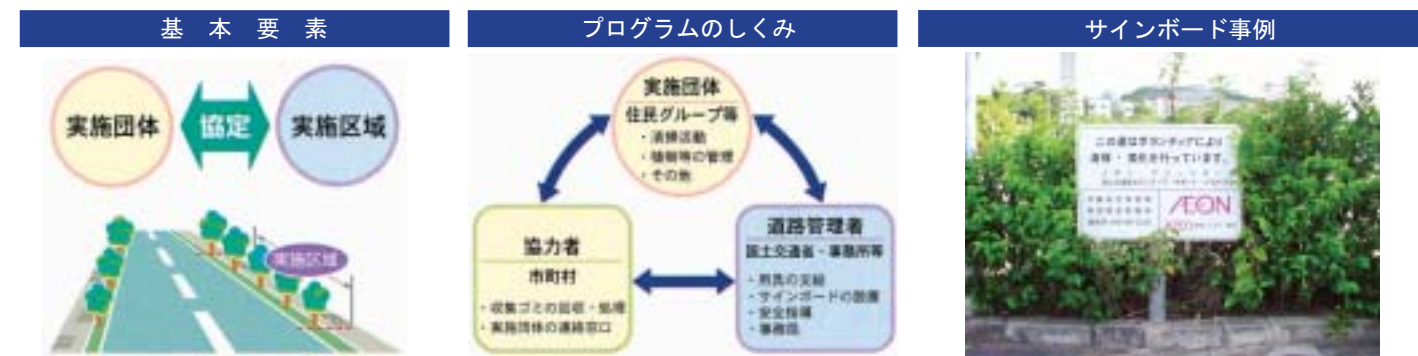
道路施設現況の把握、道路区域変更・供用開始手続き、承認工事、占用許可、特殊車両の通行許可、監督処分、敷地調査・境界確定等の業務及び快適な道路空間を確保するための維持・修繕工事を行っています。平成16年4月管理課が廃止され管理一課、管理二課の体制となり、道路管理がより充実されました。また、他の道路管理者との交差点協議、災害時の道路交通管理、その他現道に関する陳情、苦情などの対応窓口としての業務及び住民の方々に道路を気持ちよく使っていただく為に、住民参加の道路美化活動「ボランティア・サポートプログラム」等の支援を行っています。

ボランティア・サポート・プログラム

“ボランティア・サポート・プログラム” (Volunteer Support Program) は、地域や企業のみなさんに道路の美化清掃等に参加していただき、みなさんとともに快適な道づくりを進めるプログラムです。

道路を慈しみ、住んでいるところをきれいにしたいという自然な気持ちを、形あるものにして考え出された“ボランティア・サポート・プログラム”。「みち」をきれいにしようという活動から始まって、地域コミュニティの活性化が期待できます。

このプログラムのしくみは、実施団体が実施区域や内容を決めた後、事務局へ活動の希望を出し、道路管理者・協力者(市町村)との3者間で協定を結び、文書で決めた内容に基づき清掃・植栽などを行います。また、この際、実施団体名を明記したサインボードを道路管理者が実施区域に立て、クリーンな活動を行っていることの表明を併せて行っています。



直轄道路維持修繕

道路構造を保全し、道路の安全性と交通の円滑化を図るため、次のような道路の維持・修繕を行っています。

- (1) 維持
路面及び構造物等の維持、道路植栽の維持、除草、清掃、防災施設の設置、道路付属物の修理更新、道路の巡回等
- (2) 修繕
橋梁の耐震補強、構造物(橋梁、トンネル、函渠等)の補修及び橋梁塗装、防災施設の設置、法面補修等
- (3) 沿道環境改善事業
良好な生活環境、快適な走行性を確保するための低騒音舗装、ヒートアイランド改善のための遮熱性舗装
- (4) 災害復旧
地震、台風、集中豪雨等による道路災害復旧等



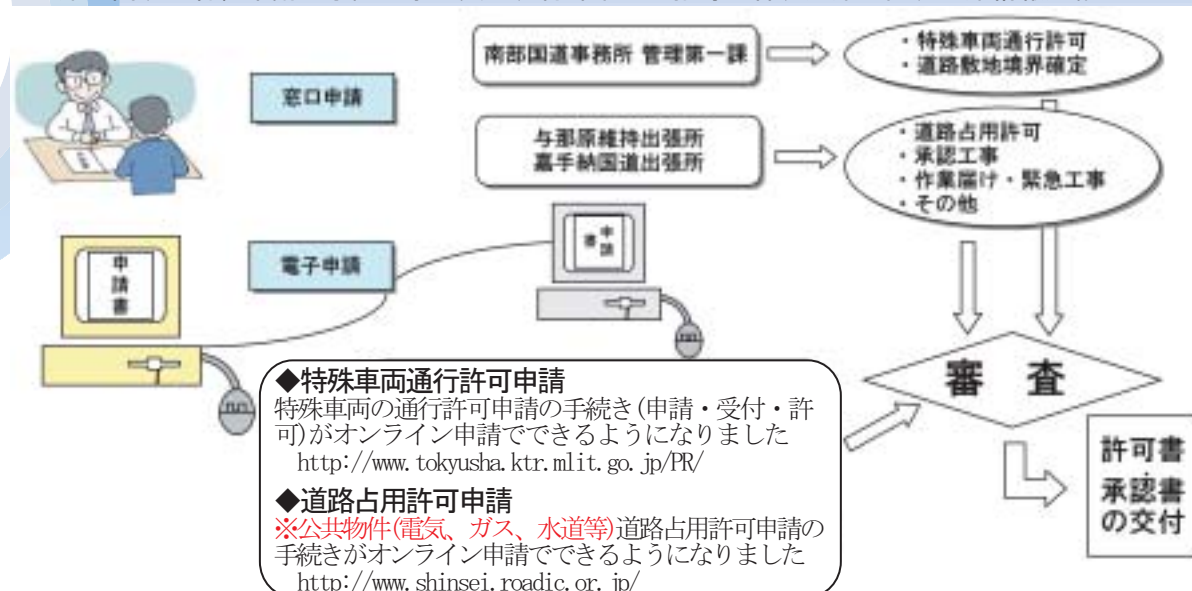
防災状況



遮熱性舗装

管理

道路に関する各種申請・承認工事の受付、特殊車両の指導取締、道路巡回、道路情報連絡



機械

路面清掃車等の特殊な建設機械の購入、維持管理や災害対策の一環として対策本部車、排水ポンプ車、照明車、災害対策型パトロールカーの整備等を行っています。また、各種機械設備の設置及び維持管理等も行っております。

■建設機械等保有一覧表

機械名	規格	台数
パトロールカー	4×4	5
散水車	6,500L	4
路面清掃車	ブラシ式、真空環流式	4
側溝清掃車	4.5㎡級ロータリーブロー式	1
排水管清掃車	5,700L・ジェット式	1
リフト車	17m級	2
標識車	クレーン付 LED式	2
	LED式	1
対策本部車	車体拡張式	1
排水ポンプ車	30m³/min	1
照明車	2kw×4灯、2kw×6灯	2
連絡車	無線装置付	20
マイクロバス	18名	1

(平成19年3月現在)

■車両重量計設置現状

設置場所	設置年度	施設		設置機器
		敷地面積	建物面積	
嘉手納町野国	S62	3,600㎡	125㎡	ロードセル式 50t
"	H11	-	-	特殊車両自動計測設備

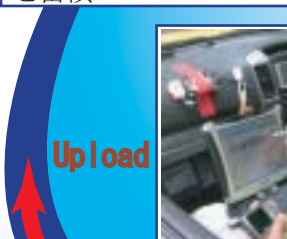
■道路巡回システム

道路巡回システムは、業務の高度化、省力化を目的としています。

◆巡回計画の作成
担当者、巡回地点、緊急連絡先、巡回種別をあらかじめパソコンへダウンロード



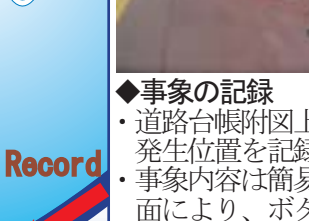
◆巡回結果の登録
巡回結果をサーバーへアップロードし、情報を蓄積



◆操作・写真の取り込み
撮影した画像やその他の情報を画面操作(タッチパネル)により素早く整理できます



◆巡回中
GPSを利用している為、現在地を確認できます



◆事象の記録
・道路台帳図上で事象発生位置を記録します
・事象内容は簡易入力画面により、ボタン操作で素早く入力できます



対策本部車

交通安全

歩行者及び車両の交通事故防止を図ると共に、交通の円滑化を確保するために行うものです。

国道58号 嘉手納ロータリー改良

嘉手納ロータリー改良は、ロータリー構造のため、走行性が悪く、休日には交通渋滞が生じているとともに、ロータリー流入部等において交通事故が多発している状況です。また、嘉手納ロータリー地区の活性化を目指した市街地最開発事業が展開されています。当該事業は、市街地再開発事業と連携するとともに、交通渋滞の緩和や交通事故の低減を図ります。



事故対策 (58号 泊ふ頭入口交差点)



【死傷事故件数変化】 ※県警データ	
対策前(H17.9月～H18.2月) 6件	減少 → 対策後(H18.4月～H18.9月) 4件

歩道整備

(331号 南城市安座真)



横断歩道橋整備

(329号 沖縄市美里歩道橋)



交通安全対策

道路交通の安全確保を図るため、歩道の新設・拡張、交差点改良などの道路交通環境の整備や、交差点改良による渋滞対策を行っています。

- (1) 一種事業...歩道整備、バス停整備、交差点改良等を行います。
- (2) 二種事業...道路照明灯、防護柵、道路標識、道路情報表示装置、区画線等の設置を行います。

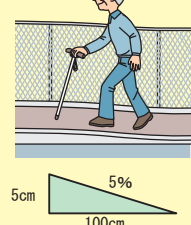


バス停上屋整備

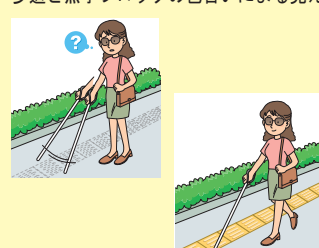
①透水性舗装について
雨水を地中にしみこませる舗装です。



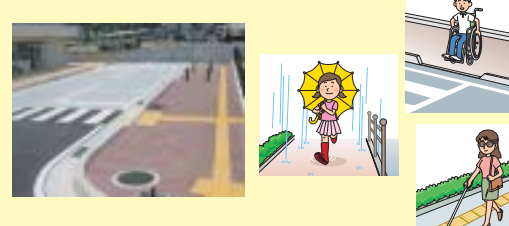
②歩道のかたむき体験コーナー
5%と8%の歩道のかたむきを体験します。



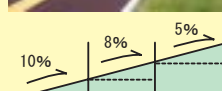
③点字ブロック体験コーナー
歩道と点字ブロックの色合いによる見え方のちがいを体験します。




⑧バリアフリー歩道体験コーナー
バリアフリー基準に基づいて作られた歩道を体験します。



⑦スロープ体験コーナー
10%、8%、5%のスロープの大きさのちがいを体験します。



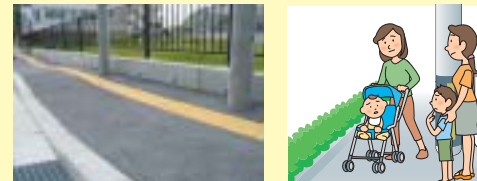
⑤歩道の段差体験コーナー
2cmと5cmの段差のちがいを車いすで体験します。



⑥砂利道体験コーナー
整備された歩道とデコボコした砂利道の歩きにくさの違いを車いすで体験します。



④波打ち歩道体験コーナー
波打ち歩道など、歩きにくい歩道を体験します。



交通バリアフリー体験施設とは

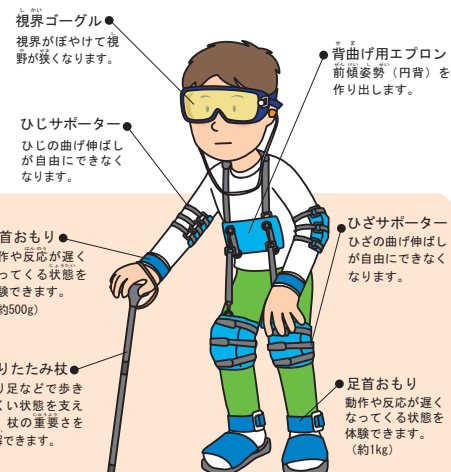
少子・高齢化時代を迎えるにあたり、誰もが安心して快適に暮らせる生活環境が求められています。このような中、南部国道事務所では、人にやさしい道についてみんなで体験して考えてもらう場として、バリアフリーふれあい広場「ゆいはいと」を整備しました。

この施設は、実際に高齢者疑似体験ツールや車イス、アイマスクなどを使い、バリアフリー化されていない段差、スロープ、波を打った歩きにくい歩道などを体験することで、お年寄りや体の不自由な人への理解（心のバリアフリー）を深めることを目的としています。

施設内では次のことが体験できます。

① 高齢者疑似体験コース

いろんな道具を身につけて、お年寄りになった気持ちで歩いてみよう。ふつうに歩くだけでも、たいへんなことが分かるよ。



② 車いす体験コース

足の不自由な人になった気もちで車いすにのってみよう。自分で動かしてみると、思うように動かないことが分かるよ。段差や坂道、狭いところをうまく通れるかな？



③ アイマスク体験コース

アイマスクをつけて、目の不自由な人になった気もちで歩いてみよう。白杖と足の裏の感覚で上手く前に進めるかな。目の前がまっくらで、前に歩くだけでもどんなにこわいのかが分かると思うよ。



国道の植栽

南部国道事務所では、沖縄の道路を様々な樹木や草花で沖縄らしさを演出するとともに、歩行環境や生活環境の向上のために各種の植栽を行っています。



3 宜野湾市大山付近
(A:リュウキュウコクタン・B:ゲッキツ)



4 那覇市松山付近
(A:トックリヤシモドキ・B:アカリファ C:アカギ・D:シャリンバイ)



2 那覇市旭町付近
(A:ガジュマル・B:オウゴンガジュマル C:フチベニタコノキ)



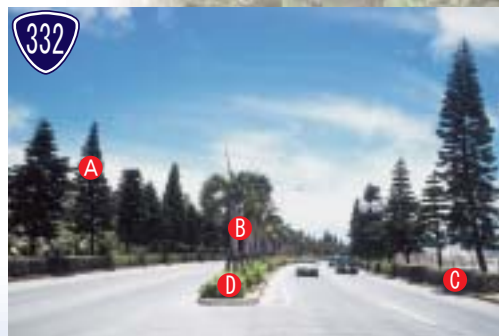
6 那覇市住吉付近
(A:モモタマナ・B:ハマヒサカキ C:キバナタイワンレンギョウ)



7 那覇市鏡水付近
(A:ガジュマル・B:ハネセンナ)



9 那覇市宮城付近
(A:ベンガルボダイジュ・B:ミツヤヤシ C:ハイビスカス)



8 那覇市垣花付近
(A:コバノナンヨウスギ・B:トックリヤシモドキ C:シャリンバイ・D:オオバナアリアケカズラ)



11 糸満市名城付近
(A:コバノナンヨウスギ・B:ハリツルマサキ)



5 読谷村喜名付近
(A:ヒロウ・B:ハイビスカス)



13 北中城村屋宜原付近
(A:ダイオウヤシ・B:キバナタイワンレンギョウ C:ハナツクバネウツギ)



14 北中城村瑞慶覧付近
(A:ダイオウヤシ・B:ハイビスカス)



12 浦添市西原付近
(A:タイワンモクゲンジ・B:アカリファ C:リュウキュウコクタン)



1 豊見城市真玉橋付近
(A:モモタマナ・B:ハマジンチョウ)



10 那覇市安次嶺付近
(A:トックリヤシモドキ・B:オウゴンガジュマル C:ガジュマル・D:ゲッキツ)



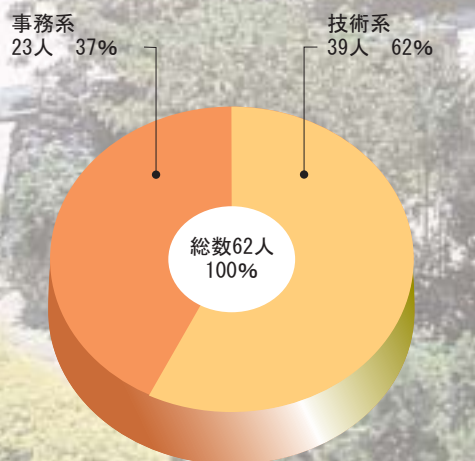
■事務所組織図



■歴代事務所長

氏 名	任 期	氏 名	任 期
千葉直治	S47. 5. 15～S48. 6. 10	青板 武	H2. 4. 1～H4. 3. 31
加藤良一	S48. 6. 10～S49. 3. 31	川島美治	H4. 4. 1～H5. 9. 30
唐沢 昭	S49. 4. 1～S51. 1. 31	川路正行	H5. 10. 1～H8. 3. 31
辻 馨	S51. 2. 1～S53. 2. 28	広瀬 勇	H8. 4. 1～H10. 3. 31
遠藤倫平	S53. 3. 1～S55. 7. 31	富岡正弘	H10. 4. 1～H13. 5. 31
友杉信男	S55. 8. 1～S57. 9. 30	大宮貴治	H13. 6. 1～H15. 3. 31
菅野善朗	S57. 10. 16～S60. 6. 15	小林 勲	H15. 4. 1～H17. 3. 31
福田 實	S60. 6. 16～S62. 3. 31	緑川和由	H17. 4. 1～H19. 3. 31
小幡光俊	S62. 4. 1～S63. 2. 28	和田祐二	H19. 4. 1～
前田視美	S63. 3. 1～H2. 3. 31		

■平成19年度人員構成



※年度当初

■事務所の沿革

- S47. 5. 15 本土復帰に伴い、沖縄開発庁沖縄総合事務局の出先機関として設置され、那覇市松山町1-2-4(トヨタビル3F)に事務所開所。所長、庶務課2係(庶務係、経理係)、工務課3係(工務第1係、第2係、管理係)の2課5係職員29名発令。
- S47. 6 那覇市与儀585番地に移転。
- S48. 4 庶務課に契約係設置、用地課及び同課用地係設置、工務課に交通対策係設置。用地官1名、建設監督官3名発令。
- S49. 7 建設監督官1名発令。
- S50. 4 新庁舎の完成に伴い現在地(那覇市港町2-8-14)に移転、副所長(事)設置。
- S51. 5 管理課、及び同課占用係、維持修繕係設置、工務課に調査設計係設置、建設監督官1名廃止。
- S52. 4 用地課に用地第2係設置、建設監督官1名発令。
- S53. 10 建設監督官1名廃止。
- S54. 4 用地課に用地第3係設置。
- S54. 10 工務課に設計係設置。
- S55. 4 管理課に機械係設置。
- S56. 4 那覇維持出張所設置に伴い管理課の占用係は管理係を吸収し、又、出張所に管理係及び技術係を設置。
- S57. 10 調査課、及び同課計画調査係設置。
- S59. 4 建設監督官1名廃止、副所長(技)設置。計画調査係を廃止し、計画係と調査係設置。
- S59. 10 特殊補償係設置。
- S61. 4 与那原町に出張所庁舎新築し、名称を「与那原維持出張所」に変更し、移転。
- S62. 10 嘉手納国道出張所を開設し、技術係を設置。
- S63. 10 用地官1名発令。
- H1. 10 建設監督官1名発令。
- H3. 10 工務課、設計係を廃止し、設計第一係、設計第二係設置。管理課に専門職1名発令。
- H4. 10 用地課を廃止し、用地第一課、用地第二課を設置。建設専門官1名発令。
- H4. 12 北谷町に嘉手納国道出張所庁舎、新築。
- H5. 4 管理課に電気通信係設置。
- H5. 10 那覇空港自動車道出張所を開設し、技術係を設置。
- H6. 10 調査課、調査係を廃止し調査第一係、調査第二係を設置。
- H6. 10 那覇空港自動車道出張所、技術係を廃止し技術第一係、技術第二係を設置。
- H7. 3 南部国道事務所災害対策室の設置。
- H7. 10 副所長(技)1名を2名に変更。
- H8. 10 交通対策課設置
- H9. 4 調査課を廃止し、調査第一課、調査第二課を設置。建設専門官1名廃止。
- H9. 10 経理課設置
- H10. 10 豊見城村字田頭に那覇空港自動車道出張所新庁舎完成・移転
- H11. 10. 1 嘉手納国道出張所に管理係を設置。技術係を廃止し、技術第一係、技術第二係を設置。
- H13. 1. 6 省庁再編に伴い、内閣府沖縄総合事務局南部国道事務所に名称変更。
- H16. 4 管理課を廃止し、管理第一課、管理第二課を設置。用地官1名廃止。
- H19. 4 品質検査官 1 人発令。調査第一課に広報係設置

琉球王国のグスク及び関連遺産群

かつて琉球王国として栄えたことの名残であるグスクが二〇〇〇年十二月「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録されました。

これは独自の歴史と文化をもつ琉球の象徴としてのグスクが世界的視野で人類の貴重な財産として認められたものです。



今帰仁城跡(なきじんじょうあと)



座喜味城跡(ざきみじょうあと)



首里城跡(しゅりじょうあと)



玉陵(たまうどうん)



園比屋武御嶽石門
(そのひゃんうたきいしもん)



識名園(しきなえん)



斎場御嶽(せーふあうたき)

-  城跡(世界遺産登録)
-  名所・旧跡(世界遺産登録)
-  高速道路(有料道路)
-  一般道路(国道)



勝連城跡(かつれんじょうあと)



中城城跡(なかぐすくじょうあと)